

# いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会

## 第4回 競技式典専門委員会



**いちご一会とちぎ国体**  
第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

日時 令和3年2月24日（水）

会場 — （書面により開催）

# 目 次

## ■ いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 第4回 競技式典専門委員会

(1) 報告事項	・・・	1
報告第1号	いちご一会とちぎ国体競技別リハーサル大会概要について	・・・ 2
報告第2号	いちご一会とちぎ国体本市開催競技日程等について	・・・ 4
報告第3号	いちご一会とちぎ国体デモンストレーションスポーツ競技会会期について	・ 5
報告第4号	いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会ホームページ等の開設について	・ 6
報告第5号	いちご一会とちぎ国体下野市開催競技会場等設計（リハーサル大会）について	・ 9
(2) 審議事項	・・・	18
審議第1号	いちご一会とちぎ国体 下野市情報通信基本計画（案）	・・・ 19
審議第2号	いちご一会とちぎ国体 下野市式典基本計画（案）	・・・ 22
審議第3号	いちご一会とちぎ国体 下野市炬火イベント実施計画（案）	・・・ 57
審議第4号	デモスポ実施要項（案）	・・・ 58
審議第5号	いちご一会とちぎ国体 下野市開催推進総合年次計画修正（案）	・・・ 61
審議第6号	いちご一会とちぎ国体 下野市情報通信業務実施要項（案）	・・・ 62
審議第7号	いちご一会とちぎ国体 下野市式典実施要項（案）	・・・ 64

# いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会

## 第4回 競技式典専門委員会

### 次 第

日時 令和3年2月24日(水)

場所 — (書面により開催)

#### 1. 開 会

#### 2. 委員長あいさつ

#### 3. いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 第4回 競技式典専門委員会

##### (1) 報告事項

- 報告第1号 いちご一会とちぎ国体競技別リハーサル大会概要について
- 報告第2号 いちご一会とちぎ国体本市開催競技日程等について
- 報告第3号 いちご一会とちぎ国体デモンストレーションスポーツ競技会会期について
- 報告第4号 いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会ホームページ等の開設について
- 報告第5号 いちご一会とちぎ国体下野市開催競技会場等設計(リハーサル大会)について

##### (2) 審議事項

- 審議第1号 いちご一会とちぎ国体 下野市情報通信基本計画(案)
- 審議第2号 いちご一会とちぎ国体 下野市式典基本計画(案)
- 審議第3号 いちご一会とちぎ国体 下野市炬火イベント実施計画(案)
- 審議第4号 デモスポ実施要項(案)
- 審議第5号 いちご一会とちぎ国体 下野市開催推進総合年次計画修正(案)
- 審議第6号 いちご一会とちぎ国体 下野市情報通信業務実施要項(案)
- 審議第7号 いちご一会とちぎ国体 下野市式典実施要項(案)

##### (3) その他

#### 4. 閉 会

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会  
第4回 競技式典専門委員会

報 告 事 項





## 報告第1号

### いちご一会とちぎ国体競技別リハーサル大会の概要について（令和3年）

#### 1 目的

いちご一会とちぎ国体の開催に備えて、競技会の運営能力の向上と市民の国体や競技に対する機運の醸成を図るため、県、競技団体及び関係機関等と協力して開催する。

#### 2 大会運営

大会の運営は、原則として国体に準じて実施するものとする。

#### 3 競技大会及び日程

##### (1) ハンドボール競技リハーサル大会

###### ◆大会名 第26回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

➤日本ハンドボールリーグ（JHL）に所属していない社会人チームを対象として、全国各ブロック予選を勝ち抜いたチーム及び開催地代表を加えた男子32チーム、女子16チームが参加し、トーナメント方式で優勝を争う大会。

上位チームには日本ハンドボール選手権大会への出場権が与えられる。

###### ◆競技日程・会場

市町	会場	期 日			
		8/11	8/12	8/13	8/14
		水	木	金	土
栃木市	マルワ・アリーナとちぎ	●	●	●	●
	日立栃木体育館	●	●		
下野市	下野市石橋体育センター	●	●	●	
野木町	野木町立野木中学校体育館	●			

###### ◆下野市日程詳細（仮）

	8/11（水）	8/12（木）	8/13（金）
下野市石橋体育センター	<b>成年女子1回戦</b>	<b>成年女子準々決勝</b>	<b>成年女子3位決定戦</b>
	9:30~10:45	9:30~10:45	9:30~10:45
	11:05~12:20	11:05~12:20	<b>成年女子決勝</b>
	12:40~13:55	12:40~13:55	11:05~12:20
	14:15~15:30	14:15~15:30	<b>成年女子 表彰式</b>
	<b>成年男子1回戦</b>	<b>成年女子準決勝</b>	12:40~13:30
	15:50~17:05	15:50~17:05	
	17:25~18:40	17:25~18:40	

(2) サッカー競技リハーサル大会

◆大会名 第57回全国社会人サッカー選手権大会

➤日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)と日本フットボールリーグ(JFL)の所属チームを除く日本サッカー協会第1種登録の社会人チームを対象として、全国9地域の代表及び開催地代表を加えた男子32チームが参加し、トーナメント方式で優勝を争う大会。上位3チームには、地域チャンピオンズリーグへの出場権が与えられる。

◆競技日程・会場

市町	会場	期 日				
		10/9	10/10	10/11	10/12	10/13
		土	日	月	火	水
宇都宮市	栃木県グリーンスタジアム				●	●
	宇都宮市河内総合運動公園陸上競技場	●				
さくら市	さくら市総合運動公園さくらスタジアム	●	●			
矢板市	矢板運動公園陸上競技場	●	●			
	矢板運動公園サッカー場	●				
那須塩原市	那須塩原市青木サッカー場グラウンドB	●	●			
真岡市	真岡市総合運動公園陸上競技場	●		●		
下野市	下野市大松山運動公園陸上競技場	●		●		
益子町	益子町南運動公園陸上競技場	●	●			

◆下野市日程詳細

	10/9 (土)	10/10 (日)	10/11 (月)	10/12 (火)	10/13 (水)
大松山運動公園 陸上競技場	1回戦 11:00~13:00 13:30~15:30		準々決勝 11:00~13:00 13:30~15:30		

## 報告第2号

### いちご一会とちぎ国体本市開催競技日程等について（令和4年）

#### ○サッカー競技（少年男子）

地区予選（国体ブロック大会）を勝ち抜いたチームと開催都道府県チームを加えた、24チームが参加し、トーナメント方式で優勝を争う。

会場	1日目 10/2（日）	2日目 10/3（月）	3日目 10/4（火）	4日目 10/5（水）	5日目 10/6（木）
真岡市総合運動公園 陸上競技場	【1回戦】 【1回戦】	【2回戦】 【2回戦】	【準々決勝】 【準々決勝】		【3位決定戦】 【決勝】
真岡市総合運動公園 サッカー場	【1回戦】 【1回戦】	【2回戦】 【2回戦】 【2回戦】			
下野市大松山運動公 園陸上競技場	【1回戦】 【1回戦】		【準々決勝】 【準々決勝】	【準決勝】 【準決勝】	
益子町南運動公園陸 上競技場	【1回戦】 【1回戦】	【2回戦】 【2回戦】 【2回戦】			

#### ○ハンドボール競技（全種別）【仮】

地区予選（国体ブロック大会）を勝ち抜いたチームと開催都道府県チームを加えた、成年男子（16チーム）、成年女子（19チーム）、少年男子（19チーム）、少年女子（16チーム）が参加し、トーナメント方式で優勝を争う。

会場	1日目 10/6（木）	2日目 10/7（金）	3日目 10/8（土）	4日目 10/9（日）	5日目 10/10（月祝）
マルワ・アリーナ とちぎ	【成女1回戦】 【成男1回戦】 【 " 】 【 " 】 【 " 】	【少男2回戦】 【成男準々決勝】 【 " 】 【 " 】 【 " 】	【少男準々決勝】 【 " 】 【成男準決勝】 【 " 】	【少男準決勝】 【 " 】 【成男3位決定戦】 【成男決勝戦】	【少男3位決定戦】 【少男決勝戦】
日立栃木体育館	【成女1回戦】 【少女1回戦】 【 " 】 【 " 】	【成女2回戦】 【 " 】 【 " 】 【 " 】			
学校法人國學院 大學栃木学園第 二体育館	【少男1回戦】 【 " 】 【 " 】	【少女2回戦】 【 " 】 【 " 】 【 " 】			
下野市石橋体育 センター	【成女1回戦】 【成男1回戦】 【 " 】 【 " 】 【 " 】	【成女2回戦】 【 " 】 【 " 】 【少女準々決勝】 【 " 】	【成女準々決勝】 【 " 】 【 " 】 【 " 】	【成女準決勝】 【 " 】 【少女3位決定戦】 【少女決勝戦】	【成女3位決定戦】 【成女決勝戦】
野木町立野木中 学校体育館	【少女1回戦】 【 " 】 【 " 】 【 " 】 【 " 】	【少男2回戦】 【 " 】 【 " 】 【少女準々決勝】 【 " 】	【少男準々決勝】 【 " 】 【少女準決勝】 【 " 】		

## 報告第3号

### いちご一会とちぎ国体デモンストレーションスポーツ競技会会期について

いちご一会とちぎ国体デモンストレーションスポーツ（キンボールスポーツ）の競技会会期について、栃木県キンボールスポーツ連盟との協議の結果、下記のとおり、県実行委員会へ報告しました。

今後、県実行委員会専門委員会において、競技会会期（案）の審議・承認後、県実行委員会常任委員会へ報告され（令和3年2月頃）、正式決定となります。

#### 記

##### 1 デモンストレーションスポーツ競技会会期

競技名	キンボールスポーツ
実施日	令和4(2022)年9月17日（土）

## 報告第4号

### いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会公式ホームページ等の開設について

#### 1) 名称

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会公式WEBサイト  
(URL <https://shimotsuke-tochigikokutai2022.jp/>)

#### 2) 目的

いちご一会とちぎ国体に向けて、準備状況等に関する情報発信やPRを広く行い、本大会及び前年度競技別リハーサル大会の周知と開催に向けた機運醸成を図る。

#### 3) 開設日

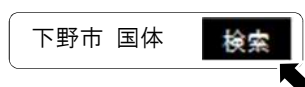
令和3年1月13日(水)

#### 4) 掲載情報

大会概要/開催競技/競技会場/競技日程/実行委員会/  
協賛企業/ボランティア/市観光情報  
国体応援メッセージ/大松山運動公園 空撮動画(トップページ)  
インフォメーション(市民活動/イベント情報/お知らせ広報活動/入札情報)等

#### 5) その他SNS

Twitter	アカウント名: いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 URL: <a href="https://twitter.com/shimotsuke_kkt">https://twitter.com/shimotsuke_kkt</a>
Instagram	アカウント名: いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 URL: <a href="https://instagram.com/shimotsuke_kkt">https://instagram.com/shimotsuke_kkt</a>
YouTube	アカウント名: いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 URL: <a href="https://www.youtube.com/channel/UC-4RoxgLqyj4XosrD6bo4g">https://www.youtube.com/channel/UC-4RoxgLqyj4XosrD6bo4g</a>





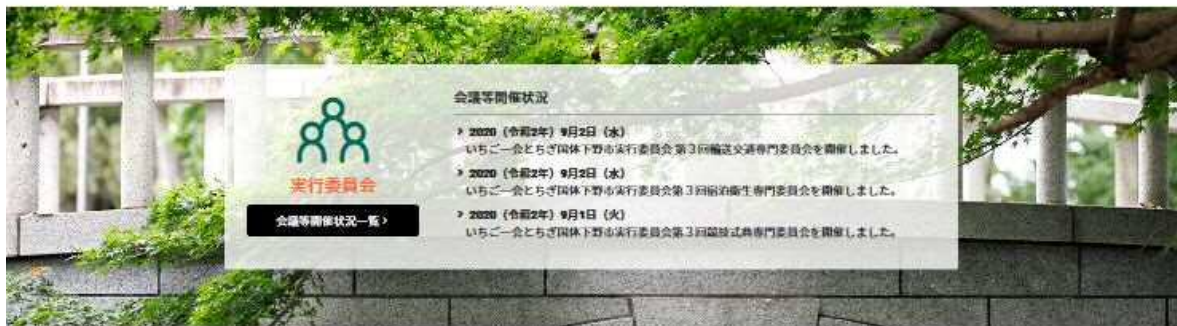
大松山運動公園の空撮動画が再生されます。



本市に縁のある方々からいただいた応援メッセージ動画を公開しています。

本市開催競技案内





協賛企業一覧



## 報告第5号

### いちご一会とちぎ国体下野市開催競技会場等設計（リハーサル大会）について

いちご一会とちぎ国体下野市開催競技会場等設計（リハーサル大会）が完了しましたので、報告します。

(1) 第26回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

本市開催期日 令和3年8月11日（水）・12日（木）・13日（金）

(2) 第57回全日本社会人サッカー選手権大会

本市開催期日 令和3年10月9日（土）・11日（月）

※ハンドボール・サッカーとも、現時点では、有観客を想定し、新型コロナウイルス対策として、検温所、外部待機所等を設定しています。

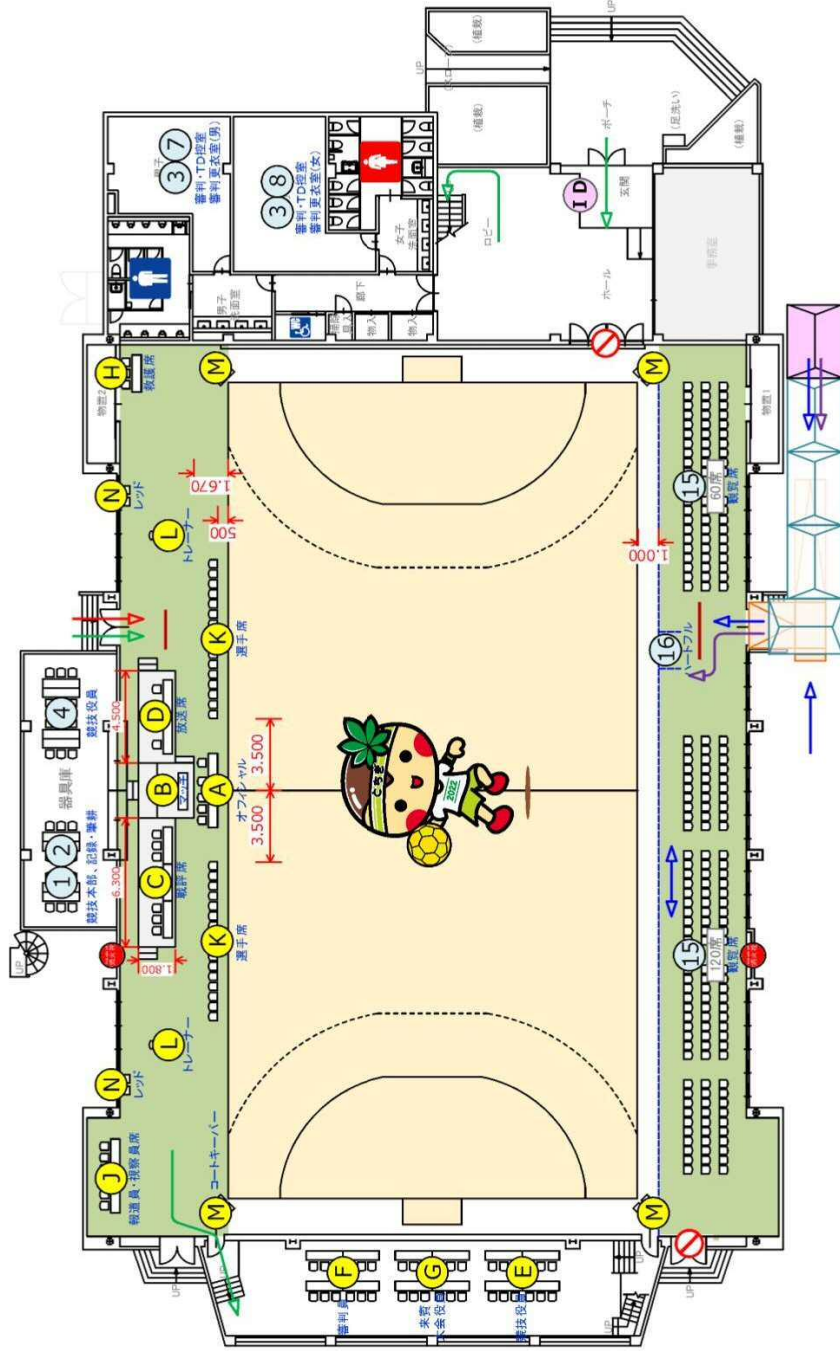
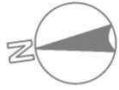
しかしながら、今後の感染状況、イベント開催時のガイドライン、競技団体等のガイドライン、及び共催市町との調整において、無観客で開催する場合も考えられます。

その際は、観客席のほか、おもてなしコーナー、ドリンクコーナー、売店の設置等を取りやめたり、臨時駐車場を設定しないなど、競技運営以外の仮設物は大幅な見直しが必要となると考えられます。

いちご一会とちぎ国体下野市開催競技会場等設計（リハーサル大会）については、現時点での設計となり、今後変更することがありますのでご了承ください。

各委員の皆さまとは、随時情報共有を行いながら、リハーサル大会の開催準備を進めていきますので、よろしく願いいたします。

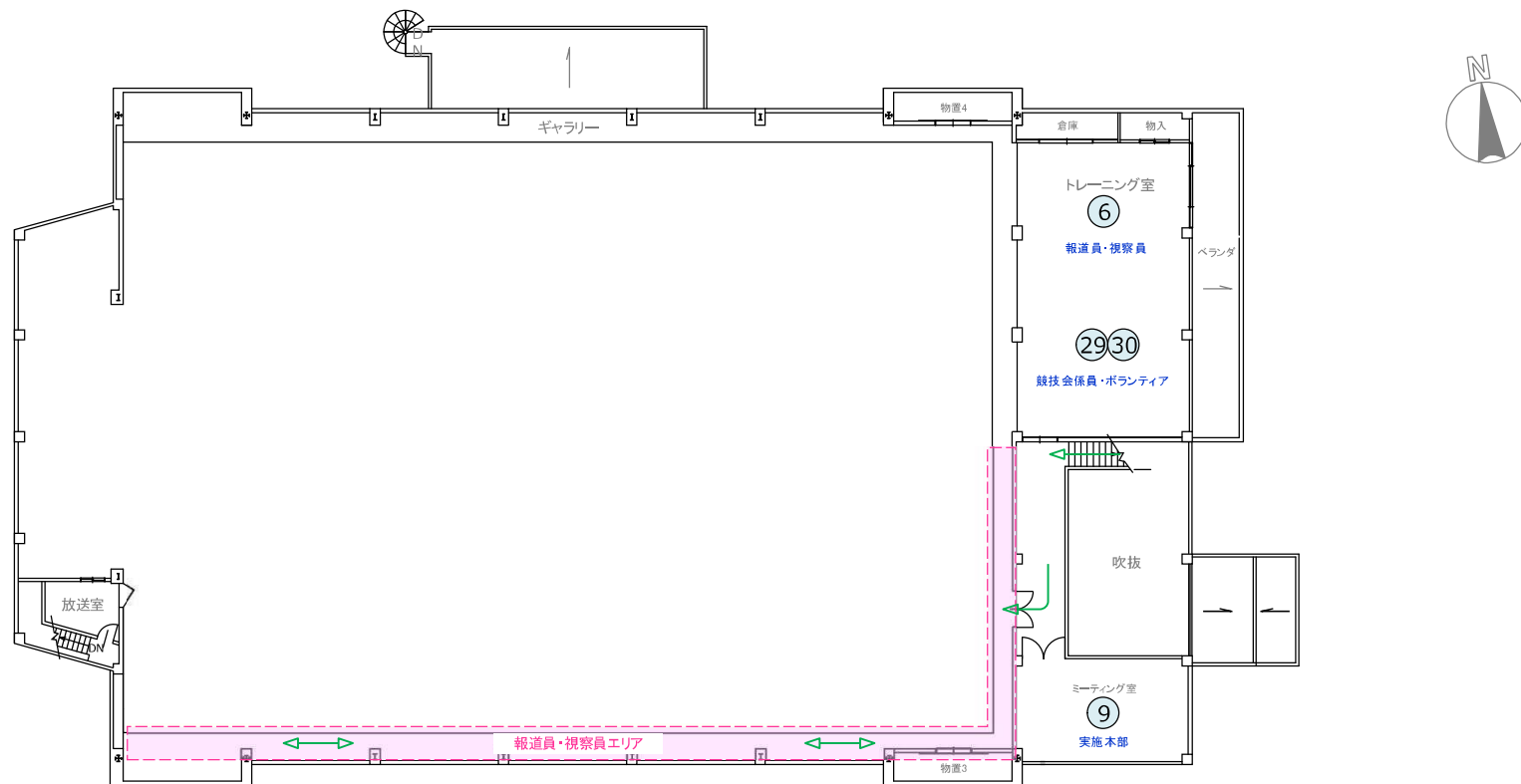




NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名
1	競技本部・審判員控室	14	ドリンクコーナー(選手)	27	エコステーション
2	記録室	15	一般観覧席	28	環境美化係控室
3	審判員・TD控室	16	ハートフル席	29	競技会係控室
4	競技役員控室	17	受付案内所(選手・監督)	30	ボランティア本部
5	来賓・大会役員控室	18	受付案内所(行政・競技団体)	31	輸送係控室
6	報道員・役員控室	19	プロگرام販売所	32	消防係控室
7	男子審判員更衣室	20	成績掲示板・記録速報所	33	ごみ収集係控室
8	女子審判員更衣室	21	教務補助	34	駐車場係控室
9	実施補助員控室	22	弁当一般	35	シャトルバス乗降所
10	選手段手控室	23	売店	36	タクシー乗降所
11	コートキーパー	24	ドリンクコーナー	37	喫煙所
12	レフト	25	インタビューコーナー	38	仮設トイレ
13	右側	26	おもてなしコーナー	39	

NO	施設名	席数
A	オフロシャワー	100席
B	マツパバ	100席
C	戦評・公式記録席	100席
D	放送役員席	100席
E	審判員席	100席
F	来賓・大会役員席	100席
G	報道員・役員席	100席
H	実施補助員席	100席
J	選手段手席	100席
K	コートキーパー	100席
L	レフト	100席
M	コートキーパー	100席
N	レフト	100席

いちご一会とちぎ国体 実行委員会	競技名	第26回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	縮尺	S=1/250(A3)
	図面名	会場配置図(石橋体育センター1F)	修正日	2020/12/02

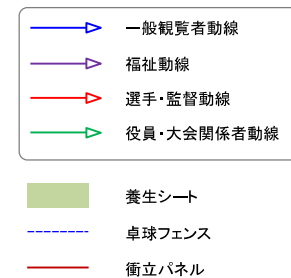


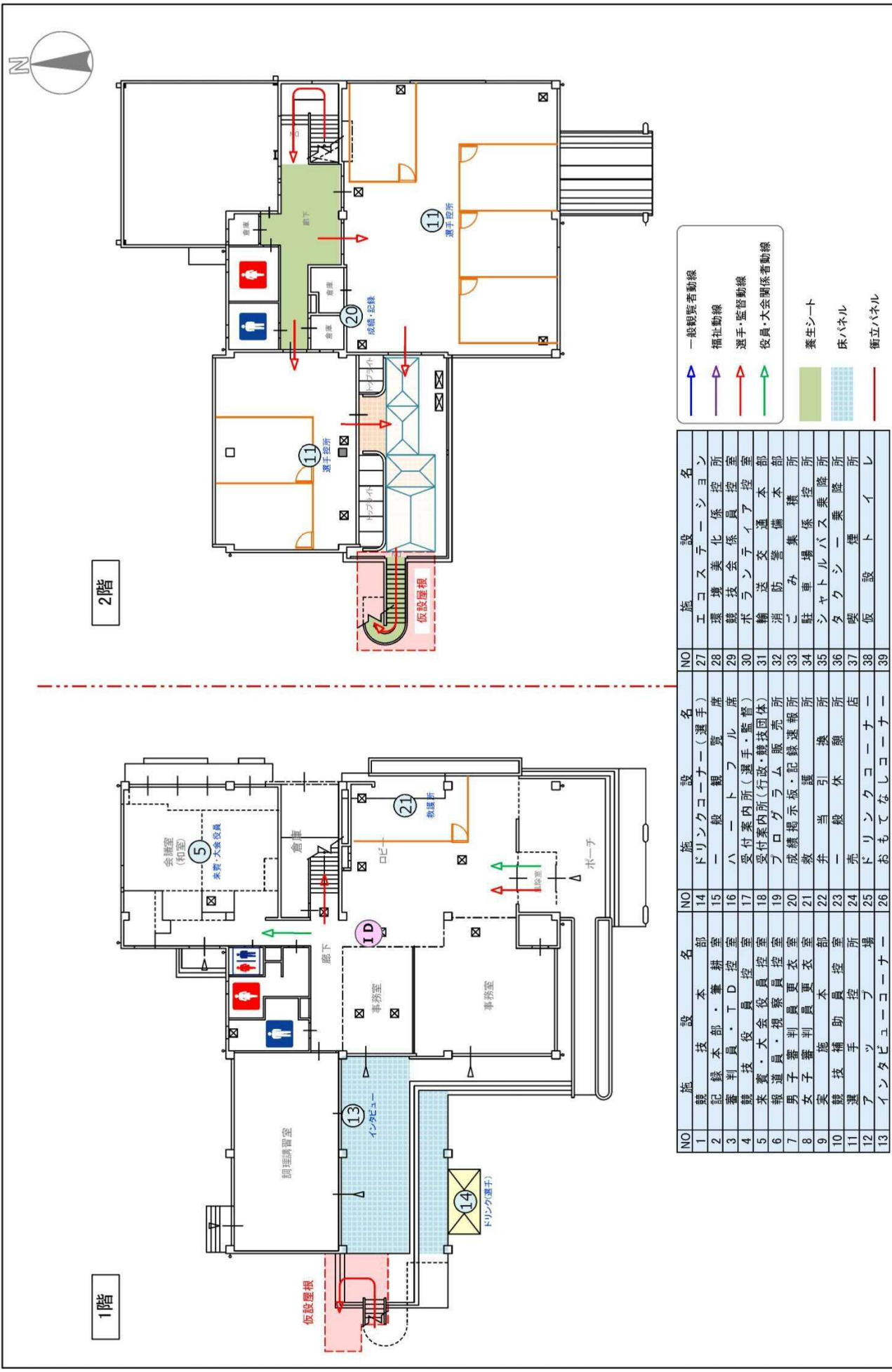
NO	施設名
A	オフィシャル席
B	マッチバイザー席
C	戦評・公式記録席
D	放送席
E	競技役員席
F	審判員席
G	来賓・大会役員席
H	救護席
J	報道員・視察員席
K	選手席
L	トレーナー席
M	コートキーパー席
N	レッドカード席

NO	施設名
1	競技本部
2	記録本部・筆耕室
3	審判員・TD控室
4	競技役員控室
5	来賓・大会役員控室
6	報道員・視察員控室
7	男子審判員更衣室
8	女子審判員更衣室
9	実施本部
10	競技補助員控室
11	選手控室
12	アツプ場
13	インタビューコーナー

NO	施設名
14	ドリンクコーナー(選手)
15	一般観覧席
16	ハートフル席
17	受付案内所(選手・監督)
18	受付案内所(行政・競技団体)
19	プログラム販売所
20	成績掲示板・記録速報所
21	救護所
22	弁当引換所
23	一般休憩所
24	売店
25	ドリンクコーナー
26	おもてなしコーナー

NO	施設名
27	エコステーション
28	環境美化係控室
29	競技会係員控室
30	ボランティア控室
31	輸送交通本部
32	消防警備本部
33	ごみ集積所
34	駐車場係控室
35	シャトルバス乗降所
36	タクシー乗降所
37	喫煙所
38	仮設トイレ
39	





2階

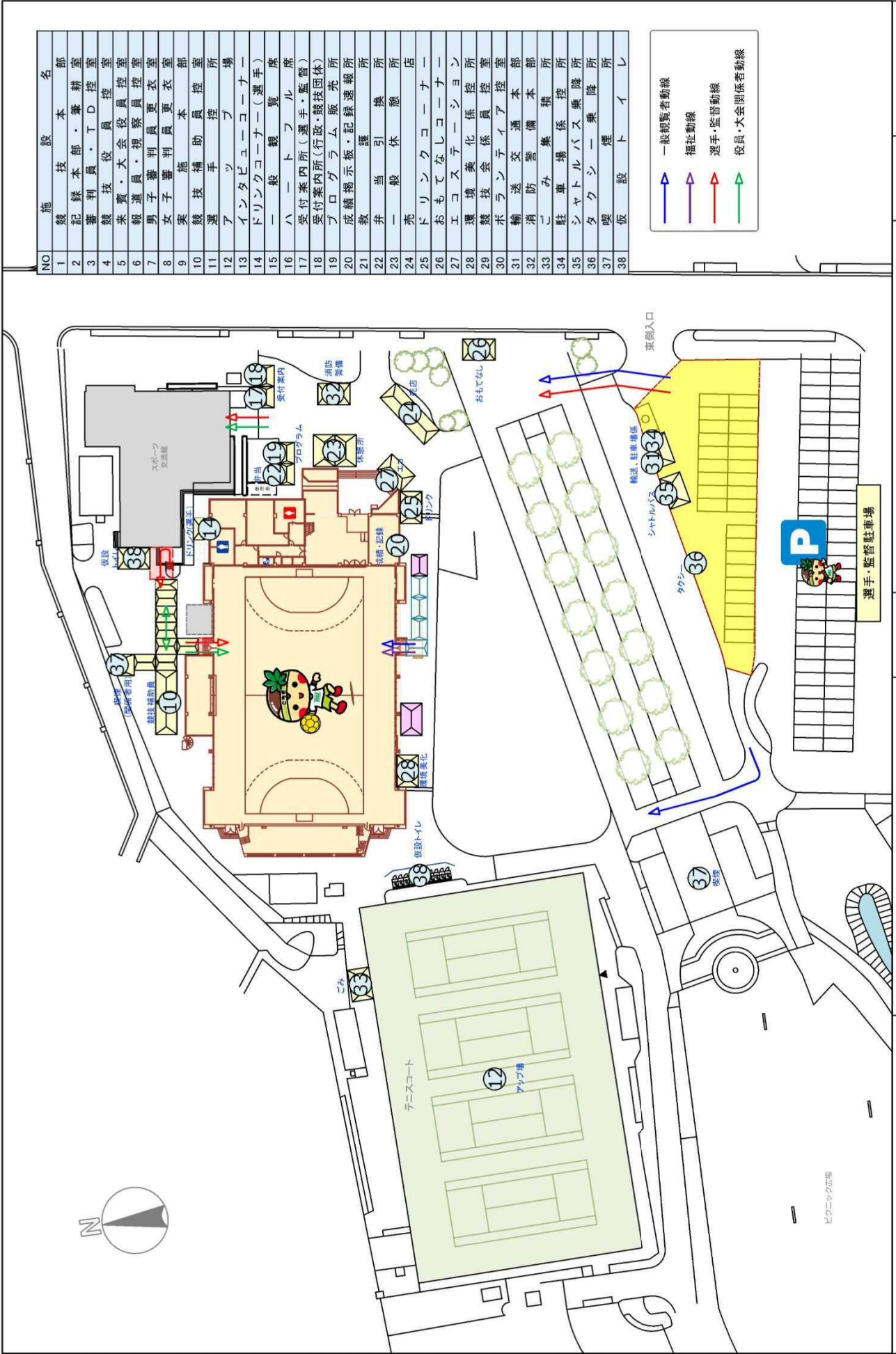
1階

↑ 一般観覧者動線  
↑ 福祉動線  
↑ 選手・監督動線  
↑ 役員・大会関係者動線  
 養生シート  
 床パネル  
 衛立パネル

NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名
1	競技本部	14	ドリンクコーナー(選手)	27	エコーモニター
2	記録室	15	一般観覧席	28	環境美化係
3	審判員	16	ハートフル	29	競技係
4	競技役員	17	受付案内所(選手・監督)	30	ボランティア
5	求養・大会役員	18	受付案内所(行政・競技団体)	31	輸送交通本部
6	報道員・視察員	19	フロウラム販売所	32	消防警備本部
7	男子審判員更衣室	20	成績掲示板・記録選報所	33	ごみ集積所
8	女子審判員更衣室	21	救護所	34	駐車場係
9	実施補助員更衣室	22	弁当引換所	35	シヤトルバス乗降所
10	競技補助員更衣室	23	一般休憩所	36	タクシー乗降所
11	選手更衣室	24	売場	37	喫煙所
12	アツプ	25	ドリンクコーナー	38	仮設トイレ
13	インタビューコーナー	26	おもてなしコーナー	39	

いちご一会とちぎ国体実行委員会  
 いちご一会とちぎ国体  
 第26回ジャパンオープンハンドボールトーナメント  
 会場周辺図(スポーツ交流館)  
 縮尺 S=1/200(A3)  
 修正日 2020/12/02

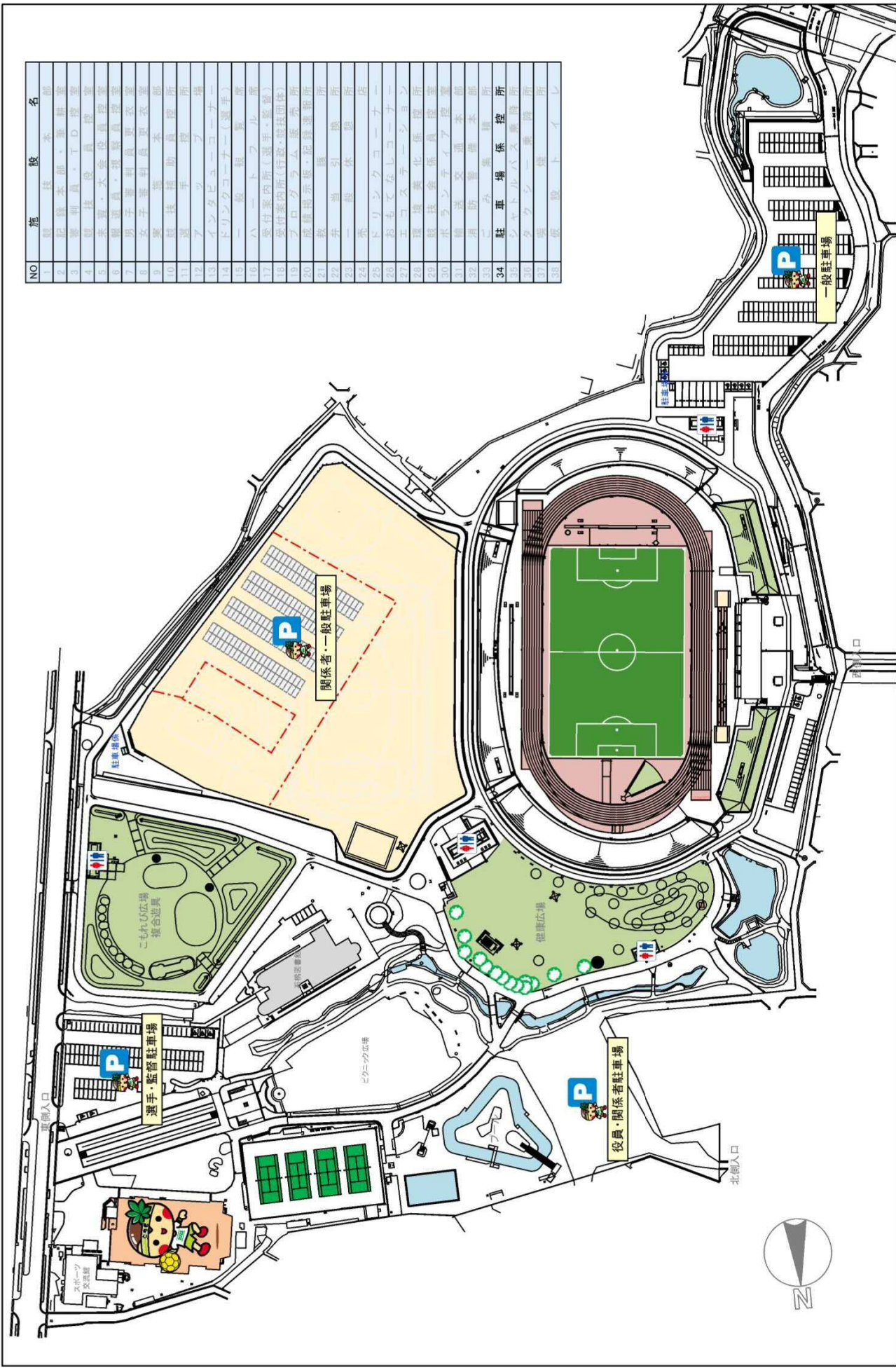




いちご一会とちぎ国体 <small>いちはら ちぎ</small> <small>第77回国民体育大会</small> 夢を感動へ。感動を未来へ。2022	競技名 第26回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	縮尺 S=1/500(A3)
	図面名 会場周辺図(石橋体育センター)	修正日 2020/12/02



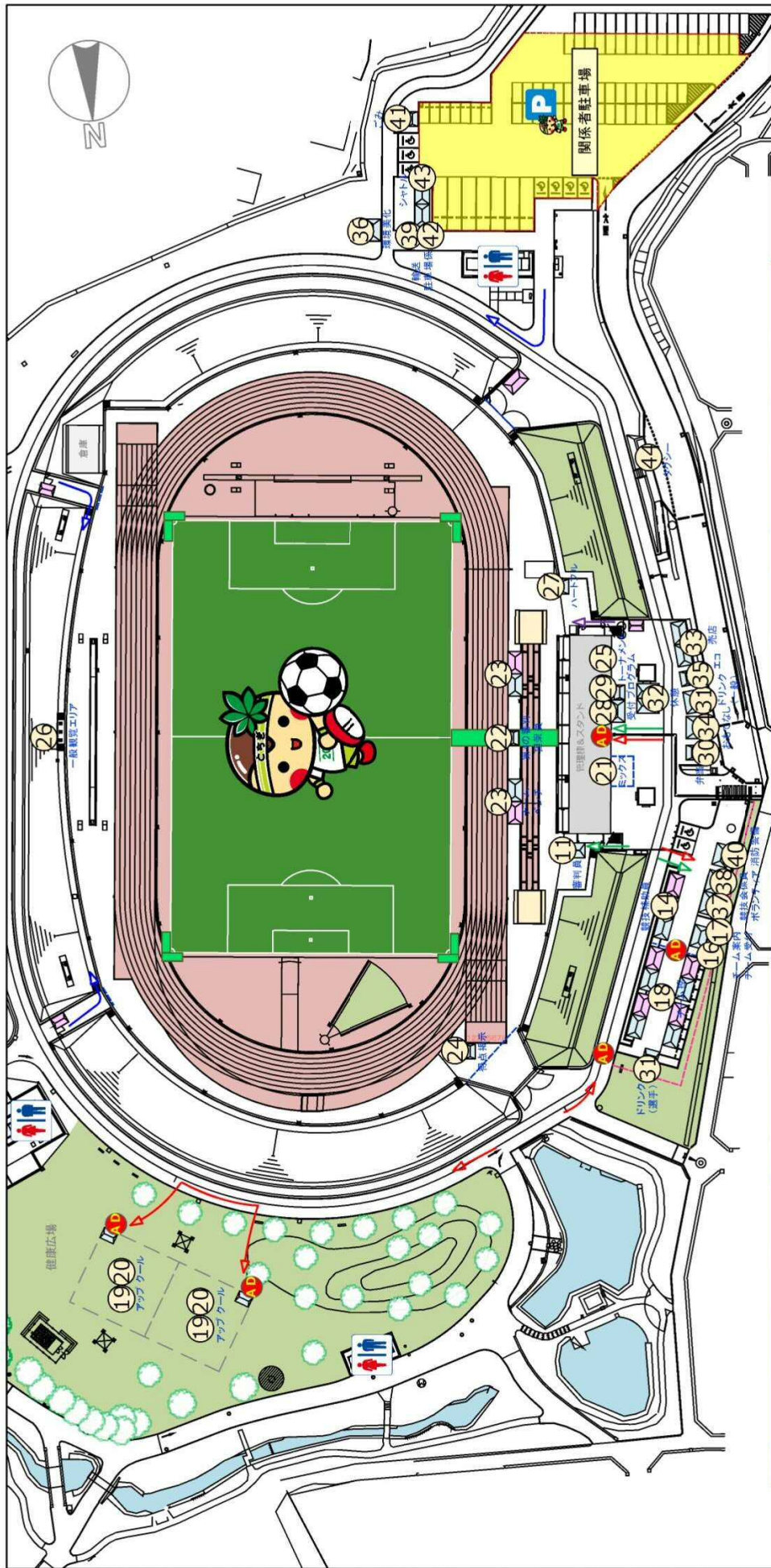
NO	施設名	股本名
1	競技本部	競技本部
2	審判員・TD	審判員・TD
3	競技役員	競技役員
4	本部・大会役員	本部・大会役員
5	男子選手	男子選手
6	女子選手	女子選手
7	選手・監督	選手・監督
8	選手・監督	選手・監督
9	選手・監督	選手・監督
10	選手・監督	選手・監督
11	選手・監督	選手・監督
12	選手・監督	選手・監督
13	選手・監督	選手・監督
14	選手・監督	選手・監督
15	選手・監督	選手・監督
16	選手・監督	選手・監督
17	選手・監督	選手・監督
18	選手・監督	選手・監督
19	選手・監督	選手・監督
20	選手・監督	選手・監督
21	選手・監督	選手・監督
22	選手・監督	選手・監督
23	選手・監督	選手・監督
24	選手・監督	選手・監督
25	選手・監督	選手・監督
26	選手・監督	選手・監督
27	選手・監督	選手・監督
28	選手・監督	選手・監督
29	選手・監督	選手・監督
30	選手・監督	選手・監督
31	選手・監督	選手・監督
32	選手・監督	選手・監督
33	選手・監督	選手・監督
34	選手・監督	選手・監督



いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会	競技名	第26回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	縮尺	S=1/1800(A3)
	図面名	会場全体図(大松山運動公園)	修正日	2021/02/08







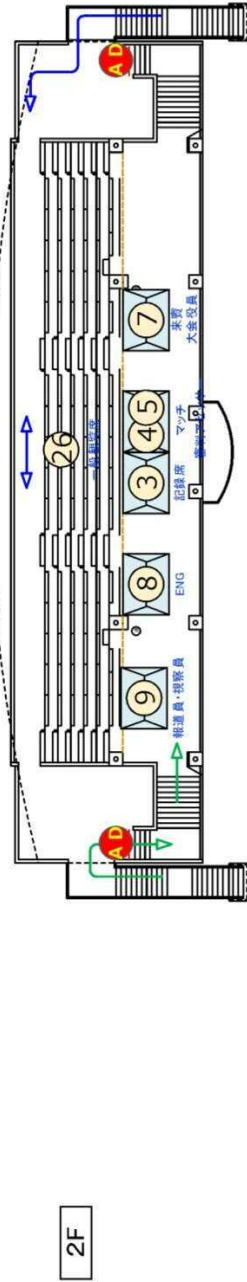
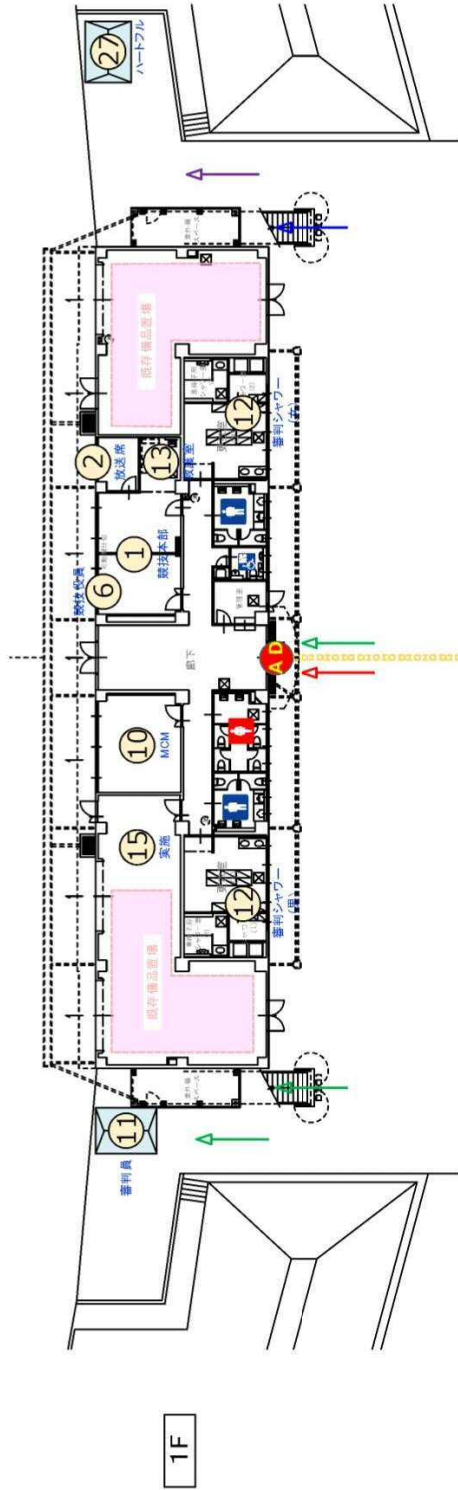
NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名
1	競技運営本部	12	審判員シヤワー室	23	審判員シヤワー室	34	おもてなしコーナー
2	放送席	13	護送席	24	救護補助席	35	エコーステーション
3	記録席	14	マツチコミシヨナ一席	25	競技補助席	36	環境美化係
4	審判アセツサ一席	15	審判アセツサ一席	26	実技本部	37	競技係員
5	競技役員席	16	来賓・大会役員席	27	チーム受付所	38	ボランティア
6	来賓・大会役員席	17	E N G 席	28	チーム案内係	39	輸送交通本部
7	報道員・視察員席	18	M C M 室	29	チーム案内係	40	消防警備本部
8	審判員控所	19	審判員控所	30	アツプエリア	41	消み集積所
9		20	審判員控所	31	クールダウンエリア	42	駐車場係
10		21	審判員控所	32	ミックストーン	43	シヤトルバス乗降所
11		22	審判員控所	33	第4の審判員席・担架員席	44	タクシー乗降所

一般観覧者動線  
 福祉動線  
 選手・監督動線  
 役員・大会関係者動線  
 イレクターフェンス  
 ローベリング

いちご一会とちぎ国体実行委員会	競技名	第57回全国社会人サッカー選手権大会	縮尺	S=1/1000(A3)
	図面名	会場配置図(大松山運動公園陸上競技場)	修正日	2020/12/11

いちご一会とちぎ国体  
 第57回全国社会人サッカー選手権大会  
 夢を感動へ。感動を未来へ。2022





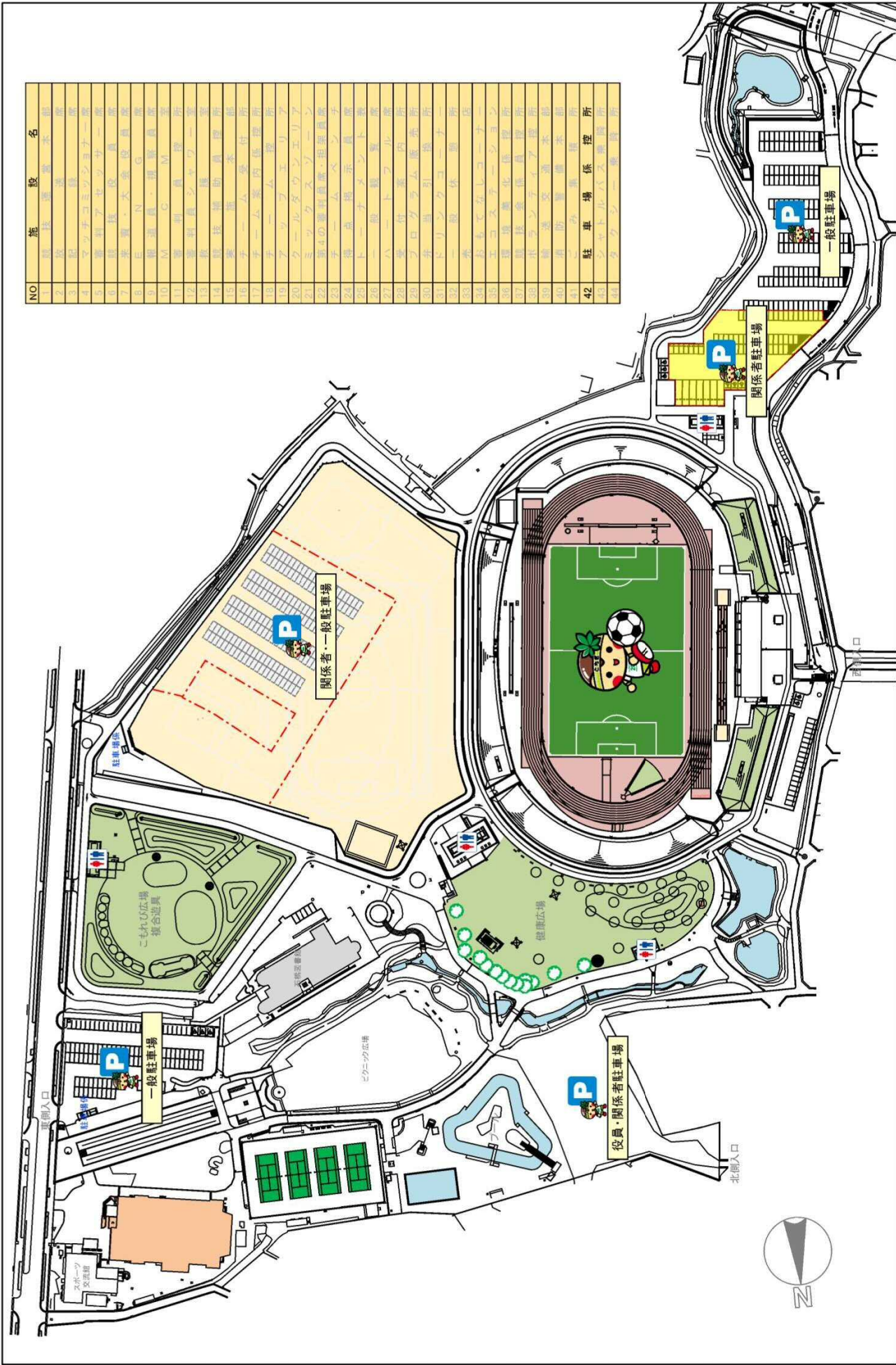
NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名
1	競技運営本部	12	審判員シャワー室	23	審判員シャワー室	34	おもてなしコーナー
2	放送席	13	救護席	24	得点掲示席	35	エコステーション
3	記録席	14	競技補助員控室	25	トーナメント席	36	環境美化係控室
4	マツコミッションナー	15	実施本部	26	一般観覧席	37	競技会係員控室
5	審判アセツサ一席	16	チーム受付所	27	ハートフル席	38	ボランティア控室
6	競技役員席	17	チーム案内係控室	28	受付案内所	39	輸送交通本部
7	来賓・大会役員席	18	アップエリア	29	プログラム販売所	40	消防警備本部
8	EN G席	19	クールダウンエリア	30	弁当引換所	41	ごみ集積所
9	報道員・視察員席	20	クールダウンエリア	31	ドリンクコーナー	42	駐車場係控室
10	M C M 室	21	ミックスゾーン	32	一般休憩所	43	シャトルバス乗降所
11	審判員控室	22	第4の審判員席・担架員席	33	売店	44	タクシー乗降所

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会



競技名 第57回全国社会人サッカー選手権大会  
 図面名 会場配置図(大松山運動公園陸上競技場管理棟)

縮尺 S=1/300(A3)  
 修正日 2020/12/11



NO	施設	名称	部
1	競技場	本場	
2	観客席	本場	
3	バックコート	本場	
4	バックコート	本場	
5	バックコート	本場	
6	バックコート	本場	
7	バックコート	本場	
8	バックコート	本場	
9	バックコート	本場	
10	バックコート	本場	
11	バックコート	本場	
12	バックコート	本場	
13	バックコート	本場	
14	バックコート	本場	
15	バックコート	本場	
16	バックコート	本場	
17	バックコート	本場	
18	バックコート	本場	
19	バックコート	本場	
20	バックコート	本場	
21	バックコート	本場	
22	バックコート	本場	
23	バックコート	本場	
24	バックコート	本場	
25	バックコート	本場	
26	バックコート	本場	
27	バックコート	本場	
28	バックコート	本場	
29	バックコート	本場	
30	バックコート	本場	
31	バックコート	本場	
32	バックコート	本場	
33	バックコート	本場	
34	バックコート	本場	
35	バックコート	本場	
36	バックコート	本場	
37	バックコート	本場	
38	バックコート	本場	
39	バックコート	本場	
40	バックコート	本場	
41	バックコート	本場	
42	バックコート	本場	
43	バックコート	本場	
44	バックコート	本場	

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会	競技名	第57回全国社会人サッカー選手権大会	縮尺	S=1/1800(A3)
	図面名	会場全体図(大松山運動公園)	修正日	2020/12/11





いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会  
第4回 競技式典専門委員会

審 議 事 項



## 審議第1号

### いちご一会とちぎ国体下野市情報通信基本計画（案）

#### 1 目的

この計画は、いちご一会とちぎ国体（以下「国体」という。）を円滑に運営するため、情報通信設備の整備について、基本となる事項を定める。

#### 2 整備の方針

情報通信設備は、可能な限り既存の設備を活用することとし、整備に当たっては、関係機関、団体等と十分な調整を行い、本市の通信環境に合致し、効率性、経済性が高く、使い勝手の良い情報通信設備を整備する。

また、国体終了後に行う現状復旧において施設等の補修が必要となる場合には、当該補修作業が最小限かつ短期間となるよう配慮する。

#### 3 整備の範囲

情報通信設備の整備の範囲は次のとおりとする。

##### (1) 競技会の運営に必要な情報通信設備

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、競技会を円滑に運営するため、競技会場に置かれる実施本部と外部関係者等との間の通信及び実施本部員との間の通信に必要な情報通信設備を整備する。

##### (2) 記録業務の実施に必要な情報通信設備

実行委員会は、迅速かつ正確な記録の送受信を行い、記録業務を円滑に実施するため、各競技会場記録本部において必要な情報通信設備を整備する。

##### (3) 参加者等への情報提供に必要な情報通信設備

実行委員会は、各競技会の参加者並びに一般観覧者に競技日程、結果等の情報を提供するため、総合案内所等に必要な情報通信設備を整備する。

#### 4 情報通信設備の種別

情報通信設備の種別は次のとおりとし、別表に掲げる各情報通信設備の特徴等を考慮し、業務内容に適した情報通信設備を整備する。

なお、通信規模や設置機器の構成を反映した外部回線の種類の選定や、LAN（構内ネットワーク等）の構築に配慮するものとする。

##### (1) 有線系（固定電話）

利用頻度が著しく高く、又は重要度が高い場合は専用電話とし、それ以外の場合は加入電話（光電話を含む。）とする。

また、必要に応じて、ファクシミリの設置やインターネット環境の整備を行う。

(2) 無線系

移動通信は、携帯電話又は無線とする。

なお、これらの選定に当たっては、当該通信地域の電波状況、通信に求められる重要度、通信の頻度、使い勝手、経済性に留意して選定する。

**5 企業協賛の活用**

実行委員会は、情報通信設備の整備にあたっては、企業協賛による無償貸与及び運営指導、電界強度調査等の技術援助により、整備等に要する経費の節減に努める。

別表（情報通信整備計画 4 関係）

区分	情報通信設備	特徴	主な用途
有線系	専用電話 (ホットライン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用回線を整備する。</li> <li>・特定の2者間で利用し、受話器を取ると相手に繋がるため話し中がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施本部内において、緊急性・重要度があり利用頻度が高い部署間で使用。</li> </ul>
	加入電話 (光電話を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般回線を使用する。</li> <li>・複数の相手と通話できる。</li> <li>・臨時に設置する一般電話で、特定電話番号を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回線が集中する部署では、必要最小限の回線を内線電話で共有できるビジネスフォンを使用すると効果的。</li> <li>・実施本部と外部関係者及び本部内の各班間で使用。</li> </ul>
	ファクシミリ (FAX)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面による通信ができる。</li> <li>・FAXと一体となった電話端末機もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭連絡では業務上支障があり、紙面での連絡・指示等が必要な部署で使用。</li> </ul>
	インターネット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンによりデータの送受信ができる。</li> <li>・気象、交通情報等の情報収集ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会運営資料の送受信、情報収集が必要な部署で使用。</li> </ul>
無線系	携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秘匿性が比較的高い。</li> <li>・付加機能（メール）によるデータの送受信ができる。</li> <li>・通話が集中する時間帯では、通信できなくなる可能性があるため、臨時基地局の設置を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動通信が必要で、一対一の連絡頻度が高い部署で使用。</li> </ul>
	特定小電力無線 (アナログ方式) (デジタル方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信距離は約100～200m。(見通し距離)</li> <li>・手軽に使い免許がいらない。</li> <li>・手軽で多数が使用するため、混信が多い。</li> <li>・建物等の障害物に弱い。</li> <li>・一斉通話ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出力(10mW)が弱く、通話距離も短いことから、通話相手が見渡せる距離で使用。</li> <li>・陸上競技場の観覧席等において、業務連絡が必要な小グループの部署で使用。</li> </ul>
	新簡易無線 (アナログ方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信距離は約1km。</li> <li>・チャンネル数が比較的多く、混信が少ないため、イベントに適している。</li> <li>・一斉通話ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出力(1W)は特定小電力無線より強く、チャンネル数、通信距離等から競技会場内で使用。</li> <li>・駐車場間の業務連絡等、ある程度の距離がある部署で使用。</li> </ul>
	簡易無線 (アナログ方式) (デジタル方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信距離は約3km。</li> <li>・チャンネル数が多く、混信が少ない。</li> <li>・アナログ方式の機器は、屋内外の使用に適している。</li> <li>・一斉通話ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新簡易無線より出力(1～5W)が強く、チャンネル数・通信距離等から競技会場内外で使用。</li> </ul>
	MCA無線 (デジタル方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中継基地局経由の広域通信。</li> <li>・通信距離は中継基地局から半径30～50km。</li> <li>・建物の影響を受けやすいが、屋外アンテナで解消できる。</li> <li>・通話時間(概ね1分間)の制限があり、話し中で通信ができない場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部と駐車場(パーク&amp;ライド等)との業務連絡等、長距離間通信が必要な部署で使用。</li> </ul>

## 審議第2号

### いちご一会とちぎ国体下野市式典基本計画（案）

#### 1 目的

いちご一会とちぎ国体」（以下「国体」という。）において下野市で開催される式典（炬火イベント、競技会開始式及び表彰式をいう。以下同じ。）については、県の「第77回国民体育大会式典基本方針」及び「式典基本構想」を踏まえ、大会にふさわしい運営を図る。

#### 2 基本事項

##### （1）炬火イベント

炬火イベントは、開催機運を高めるために、本市の特色を活かし、市民が親しみを持てるよう、創意工夫を凝らして実施する。

##### （2）競技会開始式

競技会開始式は、実施の有無を競技団体と協議し、実施する場合にあつては競技運営に支障のないよう簡素化に努める。

##### （3）表彰式

表彰式は、選手の健闘を心からたたえる場となるよう、競技団体、市民等と協力して実施する。

##### （4）式典音楽

式典で使用する音楽は、CD等の活用を図るなど簡素化に努める。

---

炬火：オリンピックの聖火に当たるもので、採火した火はリレーされるなどして総合開会式において一つに集火され、炬火台に点火される。

# いちご一會とちぎ国体

第77回 国民体育大会

夢を感動へ。感動を未来へ。2022



## 式典基本構想



平成30年2月13日

令和元年8月5日改正

いちご一會とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会

# 目 次

式典基本構想策定にあたって	1
1 大会の概要	2
2 式典の概要	4
3 総合開・閉会式等の概要	
(1) 総合開会式	5
(2) 総合閉会式	6
(3) 冬季大会競技会開始式	7
(4) 各競技会の表彰式	7
(5) 大会旗・炬火リレー	8
4 式典に係る今後のスケジュール	9
5 参考資料等	10

## 式典基本構想策定にあたって

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を目指し、地方スポーツの振興と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

栃木県では、昭和 55 (1980) 年開催の「栃の葉国体」以来 42 年ぶりとなる平成 34 (2022) 年に、第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」を開催することとなりました。

栃木県で 2 度目の開催となる国体は、「オリンピック・レガシー（遺産）を生かし、県民総力を挙げて、栃木の魅力・実力を世界に発信」を基本目標として定め、「県民総参加で感動を創出する国体」「栃木の魅力を世界に発信する国体」「生涯にわたりスポーツ活動を推進する国体」「地域スポーツの活性化につながる国体」の 4 つの項目を大きな柱として、国体の成功に向けて取り組んで参ります。

特に、総合開・閉会式をはじめとする式典は、栃木の自然や歴史・文化を県内外に発信できる絶好の機会であることから、県民総参加のもと、来県者を温かく迎え、地域の特徴を生かしたおもてなしをすることで、栃木の魅力・実力を全国にアピールする場にしたいと考えています。

この式典基本構想は、平成 28 (2016) 年に策定した式典基本方針を踏まえた上で、式典に関する基本的な考え方を明らかにするもので、「いちご一会とちぎ国体」における式典全体の共通指針として、策定します。



昭和 55 (1980) 年「栃の葉国体」

(株) 新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用



## 1 大会の概要

大会名

第77回 国民体育大会

大会愛称

いちご<sup>いちえ</sup>会とちぎ国体

「いちご」の生産量が半世紀にわたって日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる国体に参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで新たな夢や感動が生まれることを目指します。

スローガン

夢を感動へ。感動を未来へ。

アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、大会に参加するすべての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。

## マスコット



### プロフィール

なまえ	「とちまるくん」
うまれたところ	栃木県庁前のトチノキ
たんじょうび	11月11日
せいかく	ちょっとやんちゃな 頑張り屋さん
とくいなこと	とちまるくん体操、 かけっこ
ゆめ	栃木県の「元気」と「ニ ニコ」で全国のお友だ ちを笑顔にすること

## 開催時期

冬季大会：令和4(2022)年1月下旬(7日間)

本大会：令和4(2022)年10月1日～11日の11日間

## 実施競技

正式競技(37競技)

冬季大会の正式競技(2競技)

特別競技(1競技)

公開競技(5競技)

デモンストレーションスポーツ(31競技)

## 2 式典の概要

式典は、総合開・閉会式、各競技会の表彰式、大会旗・炬火リレーで構成します。

国民体育大会開催基準要項並びに第77回国民体育大会開催基本構想及び第77回国民体育大会式典基本方針に定められた内容を踏まえ、オリンピック・レガシーを生かし、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体」にふさわしい式典を目指します。

### (1) 式典テーマ **夢を感動へ。感動を未来へ。**

#### (2) 式典の基本的な考え方

##### ① 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典

- 県民をはじめ、参加するすべての人々が協力し、全員で感動を共有できる式典を目指します。
- 簡素化に努めながらも、工夫を凝らして創り上げることで、記憶に残る式典を目指します。

##### ② 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典

- 栃木の美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化を取り入れることで、本県の魅力を全国に発信する式典を目指します。
- 県民がふるさとの魅力を再認識するとともに、その魅力に誇りをもつことができる式典を目指します。

##### ③ 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

- 県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、栃木県民の温かさが伝わる式典を目指します。
- 参加するすべての人々の絆を深め、来県者と栃木との本物の出会いを演出する式典を目指します。

### 3 総合開・閉会式等の概要

#### (1) 総合開会式

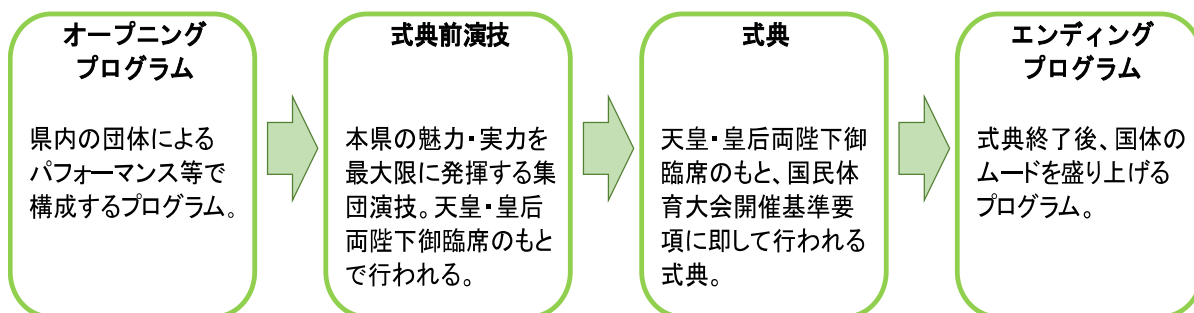
##### ① 開催会場 栃木県総合運動公園（仮称 新スタジアム）

##### ② 基本的な考え方

- ・ 選手一人一人が抱く、国体に懸ける思いや夢を表現し、これから始まる熱戦への期待感を高める内容とします。
- ・ 栃木の自然や歴史・文化を生かした内容で、会場全体を盛り上げるとともに、栃木の魅力を全国へ発信する内容とします。
- ・ 次の世代を担う子どもたちをはじめ、すべての県民にスポーツの素晴らしさを広め、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつくきっかけになる内容とします。

##### ③ 構成及び展開イメージ

オープニングプログラム、式典前演技、式典、エンディングプログラムで構成



##### ④ 総合開会式における式典の流れ（次第）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 開会宣言（栃木県知事）
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 6 栃木県旗・都道府県旗・会場市町村旗掲揚
- 7 天皇杯・皇后杯返還
- 8 大会会長あいさつ（日本スポーツ協会会長）
- 9 文部科学大臣あいさつ
- 10 天皇陛下のお言葉
- 11 炬火入場・点火
- 12 選手代表宣誓
- 13 閉式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

## (2) 総合閉会式

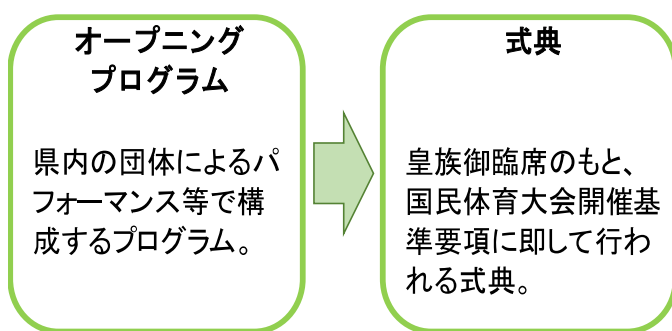
### ① 開催会場 栃木県総合運動公園（仮称 新スタジアム）

### ② 基本的な考え方

- 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、大会に関わった全ての人への感謝を表現した内容にします。
- 大会の中で生まれた一期一会の出会いを大切にし、絆をさらに深める式典にします。
- 「いちご一会とちぎ国体」での多くの感動を振り返るとともに、その感動を第 22 回全国障害者スポーツ大会や、第 78 回国民体育大会へつなげる式典にします。

### ③ 構成及び展開イメージ

オープニングプログラム、式典で構成



### ④ 総合閉会式における式典の流れ（次第）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 天皇杯・皇后杯授与
- 6 大会会長あいさつ（日本スポーツ協会会長）
- 7 スポーツ庁長官あいさつ
- 8 栃木県旗・都道府県旗・会場地市町村旗降納
- 9 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
- 10 国旗降納
- 11 炬火分火・納火
- 12 国体旗引継
- 13 次期開催県旗掲揚
- 14 閉会宣言（栃木県知事）
- 15 閉式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

### (3) 冬季大会競技会開始式

#### ① 開催会場 未定

#### ② 基本的な考え方

- ・ 総合開会式の基本的な考え方を踏襲し、「いちご一会とちぎ国体」の幕開けにふさわしい内容にします。

#### ③ 構成及び展開イメージ

歓迎アトラクション、式典で構成

#### ④ 開始式における式典の流れ（次第）

- 1 競技会開始宣言
- 2 国旗掲揚
- 3 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 4 栃木県旗・会場地旗掲揚
- 5 大会会長トロフィー返還
- 6 日本スポーツ協会会長または文部科学省あいさつ
- 7 競技会会長（中央競技団体）あいさつ
- 8 歓迎のことば
- 9 選手代表宣誓

※ 次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

### (4) 各競技会の表彰式

#### 基本的な考え方

- ・ 全力を尽くした選手の健闘を称え、参加者同士で感動を分かち合うとともに、関わったすべての人が達成感や清々しさを感じられる内容とします。
- ・ 簡素な中でも、地域の特色を生かした内容とします。

～参考：国民体育大会開催基準要項細則（抜粋）～

#### 8 本則第20項第5号（各競技会表彰式の要領）

各競技会の表彰式では、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

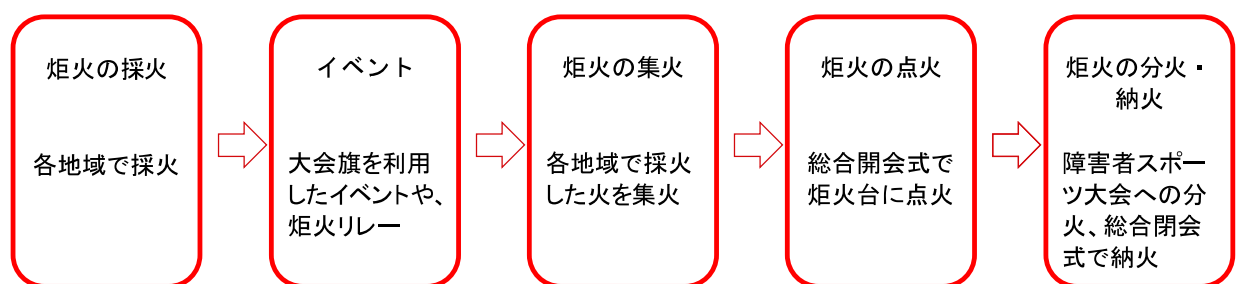
- ・ 成績発表
- ・ 表彰状授与
- ・ 大会会長トロフィー授与
- ・ 競技会会長閉会のあいさつ
- ・ 会場地代表歓送のことば
- ・ 国旗降納
- ・ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

## (5) 大会旗・炬火リレー

### ① 基本的な考え方

- ・ 地域の歴史・伝統・文化を生かすことで、郷土意識を高める内容とします。
- ・ 子どもからお年寄りまで、幅広い年代の県民が参加することで、国体に向けた機運を高めます。
- ・ 県民や選手の心に刻まれる内容となるよう、工夫します。

### ② 展開イメージ



#### 4 式典に係る今後のスケジュール

	平成30(2018)～31(2019)年度 (開催4～3年前)	平成32(2020)年度 (開催2年前)	平成33(2021)年度 (開催1年前)	平成34(2022)年度 (開催年)
全体計画	式典基本計画 策定	式典実施計画 策定	式典実施要項 策定	総合練習会・総合リハーサル実施 いちご一会とちぎ国体 本大会
式典運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングプログラムの基本的な考え方、構成</li> <li>・エンディングプログラムの基本的な考え方、構成</li> <li>・炬火リレーの基本方針、実施市町村の意向調査ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングプログラムの内容、時間配分、構成計画</li> <li>・エンディングプログラムの内容、時間配分、構成計画</li> <li>・炬火リレーの演出、入場・点火計画</li> <li>・全体のタイムテーブルほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングプログラムの演目、出演団体</li> <li>・エンディングプログラムの演目、出演団体</li> <li>・炬火リレーの演出、採火・点火方法ほか</li> </ul>	
式典音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典音楽の基本的な考え方</li> <li>・使用曲の構想</li> <li>・音楽隊編成の検討ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典音楽の使用曲、時間配分、演奏形態</li> <li>・音楽隊の編成、人数ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典音楽の演奏時間、使用曲名、作編曲名、指揮者選定、音楽出演団体ほか</li> </ul>	
式典演技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典演技の基本的な考え方、展開、構想</li> <li>・出演団体の編成計画ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典演技の構成、内容</li> <li>・出演団体の選定、構想</li> <li>・音響、映像の計画ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典演技の出演者、演技内容、演技での使用用具、服飾、デザインほか</li> </ul>	



## 5 参考資料等

### 第 77 回国民体育大会 式典基本方針

(平成 29 (2017) 年 2 月 13 日 第 8 回常任委員会決定)

第 77 回国民体育大会の式典は、国民体育大会開催基準要項(以下「基準要項」という。)及び第 77 回国民体育大会開催基本方針並びに第 77 回国民体育大会開催基本構想を踏まえ、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体」にふさわしい式典とする。

#### 1 基本理念

- (1) 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典とする。
- (2) 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典とする。
- (3) 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典とする。

#### 2 式典の構成

式典は、国民体育大会の総合開・閉会式、各競技会の表彰式及び大会旗・炬火リレーで構成する。

- (1) 総合開会式・総合閉会式  
総合開会式及び総合閉会式は、基準要項第 19 項第 3 号に規定する各項目及び基準要項第 19 項第 4 号に規定する集団演技並びに役員・選手団入退場で構成する。
- (2) 各競技会表彰式  
各競技会表彰式は、基準要項第 19 項第 5 号及び同細則第 7 項の規定する各項目で構成する。
- (3) 大会旗・炬火リレー  
大会旗・炬火リレーは、炬火採火、大会旗・炬火リレー及び炬火集火で構成する。

#### 3 式典の企画・運営

- (1) 総合開会式・総合閉会式  
総合開・閉会式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備(実行)委員会が企画し、第 77 回国民体育大会栃木県実施本部(仮称)が運営に当たる。
- (2) 各競技会表彰式  
各競技会の表彰式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備(実行)委員会が別に定める要項に基づき、会場地市町村準備(実行)委員会が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。
- (3) 大会旗・炬火リレー  
大会旗・炬火リレーについては、別に定める要項に基づくものとする。

## 第 77 回国民体育大会開催基本構想（抜粋）

（平成 27（2015）年 11 月 5 日 第 4 回常任委員会決定）

### 第 2 章 第 77 回国民体育大会の基本目標と目指す方向

#### 1. 第 77 回国民体育大会の基本目標

オリンピック・レガシー（遺産）を生かし、  
県民総力を挙げて、栃木の魅力・実力を世界に発信

平成 32（2020）年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の 2 年後となる好機を生かし、ハード・ソフト両面のオリンピック・レガシー（遺産）を可能な限り受け継ぎながら、国内最大のスポーツの祭典として、全ての県民が総力を結集し、本県の魅力・実力を国内外に積極的に発信する大会となることを基本目標として定めます。

また、基本目標の実現に向けて、次の 4 つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

#### 2. 栃木県が目指す国体

##### 取組 1 県民総参加で感動を創出する国体

全県民が総力を挙げて、郷土を代表する競技者を応援するとともに、競技会等を「する」「みる」「支える」といった関わりを持つことで、県民総参加の大会を目指します。

##### 取組 2 栃木の魅力を世界に発信する国体

本県の豊かな自然と地域の特色を活かし、観光・歴史・文化的事業の推進を図りながら地域の絆を深め、本県を訪れる人々を「おもてなしの心」で温かく迎える大会を目指します。

##### 取組 3 生涯にわたりスポーツ活動を推進する国体

指導者の養成や選手の育成など、競技力の向上を図りながら、すべての県民にスポーツの喜びを広め、健康増進と体力向上を推進し、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつく大会を目指します。

##### 取組 4 地域スポーツの活性化につながる国体

競技会の開催に当たっては、県・市町村施設を有効に活用するとともに、開催される競技が会場となる市町村に普及し、地域に根付くような大会を目指します。

## 国民体育大会開催基準要項（抜粋）

（平成 30（2018）年 4 月 1 日 公益財団法人日本スポーツ協会）

### 20 大会の式典

#### 【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として 60 分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

総合開会式 開会宣言  
国旗掲揚  
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚  
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚  
天皇杯・皇后杯返還  
大会会長あいさつ  
文部科学大臣あいさつ  
天皇陛下お言葉  
炬火点火  
選手代表宣誓

総合閉会式 成績発表  
表彰状授与  
天皇杯・皇后杯授与  
大会会長あいさつ  
スポーツ庁長官あいさつ  
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納  
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納  
国旗降納  
炬火納火  
国体旗引継  
次期開催県旗掲揚  
閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第 8 項により実施することができる。

#### 【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

### 21 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。
- (3) 本大会の開催期間を除き、国体旗の保管は、日本スポーツ協会が行う。

### 22 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

2022

いちご一<sup>いちえ</sup>会とちぎ国体  
いちご一<sup>いちえ</sup>会とちぎ大会

第77回 国民体育大会 第22回 全国障害者スポーツ大会

夢を感動へ。感動を未来へ。

いちご一<sup>いちえ</sup>会とちぎ国体・とちぎ大会

# 式典基本計画







# 式典基本計画 目 次

式典基本計画策定にあたって	1
<b>1 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の概要</b>	<b>2</b>
<b>2 式典の概要</b>	
(1) 式典テーマ	4
(2) 式典の基本的な考え方	4
<b>3 総合開会式・開会式</b>	
(1) 基本的な考え方	5
(2) 次第	5
(3) オープニングプログラムの基本的な考え方	6
(4) エンディングプログラムの基本的な考え方	6
<b>4 総合閉会式・閉会式</b>	
(1) 基本的な考え方	7
(2) 次第	7
(3) オープニングプログラムの基本的な考え方	8
(4) ファイナルステージの基本的な考え方	8
<b>5 式典演技（式典前演技、歓迎演技）</b>	
(1) 基本的な考え方	9
(2) 演技構成上の留意点	9
<b>6 式典音楽</b>	
(1) 基本的な考え方	10
(2) 音楽隊編成の構想	10
(3) 使用曲の構想	11
<b>7 冬季大会競技会開始式</b>	
(1) 基本的な考え方	12
(2) 次第	12
<b>8 各競技会の表彰式</b>	
(1) 内容	13
(2) 実施上の留意点	13
(3) その他	13
<b>9 炬火イベント</b>	
(1) 基本的な考え方	14
(2) 炬火イベント基本方針	14





# 式典基本計画策定にあたって

第77回の国民体育大会（以下「国体」という。）が、令和4（2022）年に本県で開催されることが正式に決定しました。本県での開催は、昭和55（1980）年の「栃の葉国体」以来42年ぶりとなります。また、第22回の全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）についても、同年に本県で開催されることとなりました。

本県は国体の愛称を「いちご一会とちぎ国体」、障スポの愛称を「いちご一会とちぎ大会」と定め、「夢を感動へ。感動を未来へ。」という「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」共通のローガンのもと、「県民総参加で感動を創出する」「栃木の魅力を世界に発信する」「生涯にわたりスポーツ活動を推進する」「地域スポーツの活性化につなげる」の4つの項目を大きな柱とした、様々な取組を行い、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の成功を目指します。

なかでも、総合開・閉会式をはじめとする式典は、栃木の美しい自然や優れた歴史・文化を全国から訪れる人々に発信する絶好の場となります。そこで、全県民が総力を挙げて、来県者を温かく迎え、地域の特徴を生かした心のこもったおもてなしをすることで、交流を深め、新たな夢や感動と喜びを共有する場とするとともに、本県の未来を創造する機会としていきたいと考えています。

この式典基本計画は、「式典基本方針」及び「式典基本構想」を踏まえた上で、式典の具体的な内容について基本的な考え方を明示し、今後の式典準備の円滑な推進を図るために策定するものです。



昭和55(1980)年「栃の葉国体」



(株)新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用



# 1 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の概要

大会名

第77回 国民体育大会

第22回 全国障害者スポーツ大会

大会愛称

いちご<sup>いちえ</sup>一会とちぎ国体  
いちご<sup>いちえ</sup>一会とちぎ大会

「いちご」の生産量が半世紀にわたって日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる国体や障スポに参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで、新たな夢や感動が生まれることを目指します。

## スローガン 夢を感動へ。感動を未来へ。

アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、国体や障スポに参加する、すべての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。

マスコット



**プロフィール**

なまえ	「とちまるくん」
うまれたところ	栃木県庁前のトチノキ
たんじょうび	11月11日
せいかく	ちょっとやんちゃな 頑張り屋さん
とくいなこと	とちまるくん体操、かけっこ
ゆめ	栃木県の「元気」と「ニコニコ」 で全国のお友だちを笑顔に すること





## 開催時期

### ●第77回国民体育大会

冬季大会：令和4（2022）年1月24日（月）～30日（日）【7日間】

本大会：令和4（2022）年10月1日（土）～11日（火）【11日間】

総合開会式：令和4（2022）年10月1日（土）

総合閉会式：令和4（2022）年10月11日（火）

総合開・閉会式会場：栃木県総合運動公園陸上競技場

### ●第22回全国障害者スポーツ大会

令和4（2022）年10月29日（土）～31日（月）【3日間】

開会式：令和4（2022）年10月29日（土）

閉会式：令和4（2022）年10月31日（月）

開・閉会式会場：栃木県総合運動公園陸上競技場

## 実施競技

### ●第77回国民体育大会

正式競技（37競技） 冬季大会の正式競技（2競技）

特別競技（1競技）

公開競技（5競技）

デモンストラレーションスポーツ（31競技）

### ●第22回全国障害者スポーツ大会

正式競技（14競技）

オープン競技（2競技）

## イメージソング

作品名：「いちご一会」

作詞・作曲／笠木 敦志

歌／サトウ ヒロコ（壬生町出身 シンガーソングライター）

ダンス：振付者／山田リズム体操クラブ代表 山田 喜美江（栃木県女子体育連盟）



## 2 式典の概要

式典は、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開・閉会式、冬季大会競技会開始式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。国体と障スポの連携を図り、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」にふさわしい式典を目指します。

### (1) 式典テーマ **夢を感動へ。感動を未来へ。**

#### (2) 式典の基本的な考え方

① 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典

- ・県民をはじめ、参加するすべての人々が協力し、全員で感動を共有できる式典を目指します。
- ・簡素化に努めながらも、工夫を凝らして創り上げることで、記憶に残る式典を目指します。

② 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典

- ・栃木の美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化を取り入れることで、本県の魅力を全国に発信する式典を目指します。
- ・県民がふるさとの魅力を再認識するとともに、その魅力に誇りをもつことができる式典を目指します。

③ 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

- ・県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、栃木県民の温かさが伝わる式典を目指します。
- ・参加するすべての人々の絆を深め、来県者と栃木との本物の出会いを演出する式典を目指します。



### 3 総合開会式・開会式

#### (1) 基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 選手一人ひとりが抱く、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」それぞれに懸ける思いや夢を表現し、これから始まる熱戦への期待感を高める内容とします。
- ② 栃木の自然や歴史・文化を生かした内容で、会場全体を盛り上げ、栃木の魅力を全国へ発信する内容とします。
- ③ 次の世代を担う子どもたちをはじめ、すべての県民にスポーツの素晴らしさを広め、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつくきっかけになる内容とします。

#### (2) 次第

##### ア いちご一会とちぎ国体 総合開会式

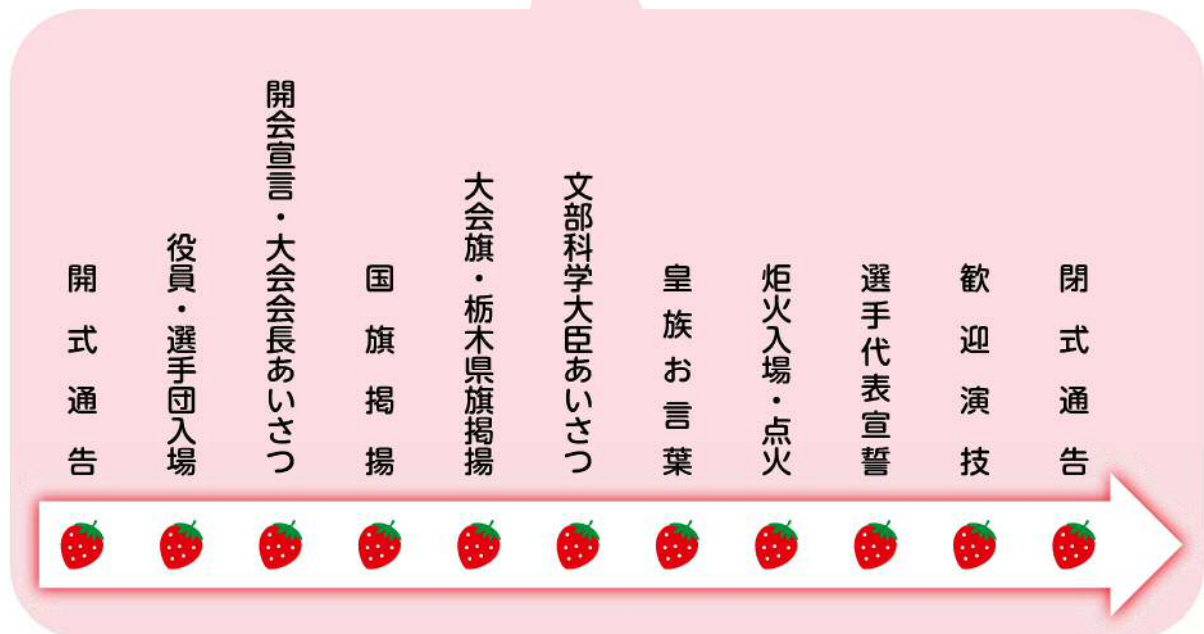


※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。





## イ いちご一会とちぎ大会 開会式



### (3) オープニングプログラムの基本的な考え方 (国体・障スポ共通)

- ① 多彩な出演団体によって「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動と喜びを共有できるような内容とします。
- ② 多くの県民が参加し、出演者や観覧者が楽しい時間を共有し、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」への期待感や応援ムードが高まるような内容とします。
- ③ 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開幕を飾るにふさわしい内容とします。

### (4) エンディングプログラムの基本的な考え方 (国体・障スポ共通)

- ① 観覧者に式典の余韻等を楽しんでいただくとともに、これから始まる競技会への期待が高まるよう、創意工夫を凝らした内容とします。
- ② 式典終了後、会場周辺の混雑緩和と、役員・選手団や観覧者等がスムーズに退場できるよう配慮します。



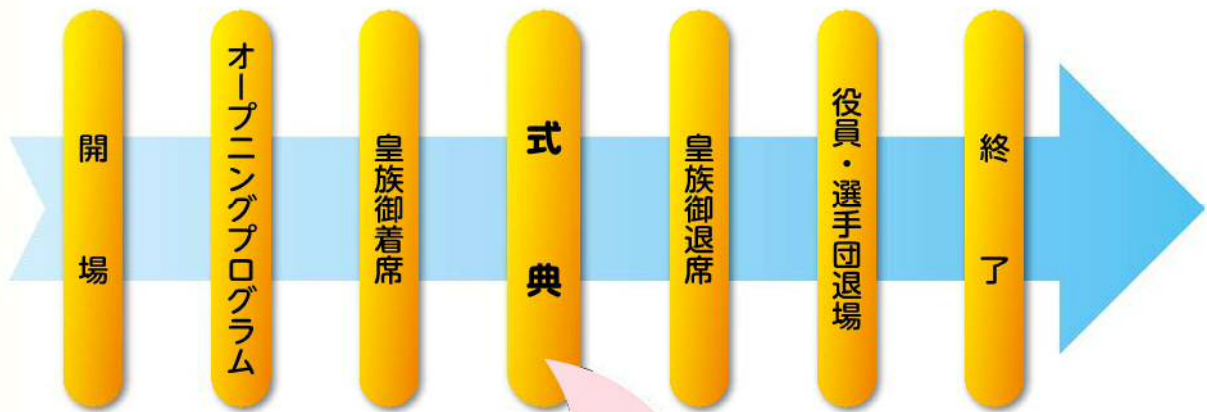
## 4 総合閉会式・閉会式

### (1) 基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に関わったすべての人への感謝を表現した内容にします。
- ② 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の中で生まれた一期一会の出会いを大切に、絆をさらに深める式典にします。
- ③ 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」での多くの感動を振り返るとともに、その感動を第78回国民スポーツ大会や、第23回全国障害者スポーツ大会へつなげる式典にします（国民体育大会は国民スポーツ大会に名称変更されます）。

### (2) 次第

#### ア いちご一会とちぎ国体 総合閉会式



閉式通告

閉会宣言

佐賀県旗掲揚

国体旗引継

炬火分火・納火

国旗降納

実施競技団体旗降納

大会旗・日本スポーツ協会旗・

会場地市町村旗降納

栃木県旗・参加都道府県旗・

スポーツ庁長官あいさつ

大会会長あいさつ

天皇杯・皇后杯授与

表彰状授与

成績発表

役員・選手団入場

開式通告

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。



## イ いちご一会とちぎ大会 閉会式



### (3) オープニングプログラムの基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に関わったすべての方々への感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ② 「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動できる内容とします。
- ③ 「いちご一会とちぎ国体」の総合閉会式では、「いちご一会とちぎ大会」への期待が高まるような内容とします。

### (4) ファイナルステージの基本的な考え方（障スポのみ）

- ① 「いちご一会とちぎ大会」のフィナーレを飾るにふさわしい内容とします。
- ② 「いちご一会とちぎ大会」を通じて生まれた一期一会の出会いを大切に、絆がさらに深まり、達成感や喜びを感じられ、心に残るような内容とします。





## 5 式典演技（式典前演技・歓迎演技）

### （1）基本的な考え方

- ① 参加するすべての人が感動し、これから始まる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」への期待感を高める演技構成とします。
- ② 栃木県の自然や歴史・文化などを取り入れ、「栃木の魅力」を感じることのできる演技構成とします。
- ③ 全国から来県した人々に「おもてなし」の気持ちが伝わり、参加するすべての人々が、「つながり」を感じることができる演技内容とします。

### （2）演技構成上の留意点

- ① 「栃木の魅力」がわかりやすく伝わる構成とします。
- ② 「いちご一会とちぎ国体」と「いちご一会とちぎ大会」の連携を図り、演出を共有します。



昭和55(1980)年「栃の葉国体」 (株)新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用



## 6 式典音楽

### (1) 基本的な考え方

- ① すべての参加者の記憶に残り、全員で感動を共有することのできる式典音楽を目指します。
- ② 使用楽曲においては、栃木にゆかりのある楽曲を取り入れて構成することで、県民がふるさとの魅力を再認識する式典音楽を目指します。
- ③ 心温まる式典音楽で迎え、来県者と栃木との本物の出会いを演出します。
- ④ 「いちご一会とちぎ国体」と「いちご一会とちぎ大会」の連携を図り、式典音楽及び式典音楽隊を共有します。

### (2) 音楽隊編成の構想

#### ① 音楽隊の編成人数

楽 隊 別	人 数
吹 奏 楽 隊	150名程度
合 唱 隊	200名程度
合 計	350名程度

#### ② 音楽隊の編成基準

##### (共通基準)

- ア 式典音楽隊への参加意思をもつ団体とする。
- イ 日常的な活動が活発で、一定の演奏水準が維持でき、指導者と練習会場を継続的に得ることのできる団体とする。
- ウ 各種練習会、リハーサル、総合開会式・閉会式等への参加が可能であり、かつ地理的・時間的条件が整う団体とする。
- エ 中学校・高等学校等の出演においては学校長の承認が得られ、引率等の人員の確保ができる団体とする。大学・職場一般においては所属長等の承認が得られる団体とする。

##### (部門別基準)

- ア 吹奏楽隊  
栃木県吹奏楽連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。
- イ 合唱隊  
栃木県合唱連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。







### (3) 使用曲の構想

#### 【総合開会式・開会式】

場 面	いちご一会とちぎ国体	いちご一会とちぎ大会
開 式 通 告	ファンファーレⅠ	
役 員・選 手 団 入 場	入退場行進曲	
開 会 宣 言	ファンファーレⅡ	
国 旗 掲 揚	「君が代」	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚	「若い力」	—
大 会 旗 掲 揚	—	「空よ大地よ」
栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗掲揚	栃木県民の歌	
天皇杯・皇后杯返還	得賞歌	—
炬 火 入 場・点 火	炬火関連曲Ⅰ	
選 手 代 表 宣 誓	ファンファーレⅢ	
閉 式 通 告	ファンファーレⅣ	
役 員・選 手 団 退 場	入退場行進曲	

#### 【総合閉会式・閉会式】

場 面	いちご一会とちぎ国体	いちご一会とちぎ大会
開 式 通 告	ファンファーレⅠ	
役 員・選 手 団 入 場	入退場行進曲	
表 彰 状 授 与 天皇杯・皇后杯授与	得賞歌	—
栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗降納	栃木県民の歌	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納	「若い力」	—
大 会 旗 降 納	—	「空よ大地よ」
国 旗 降 納	「君が代」	
炬 火 分 火・納 火	炬火関連曲Ⅱ	
国 体・大 会 旗 引 継	佐賀県が指定する曲	
次 期 開 催 県 旗 掲 揚	佐賀県が指定する曲	—
閉 会 宣 言	ファンファーレⅤ	
閉 式 通 告	ファンファーレⅣ	
役 員・選 手 団 退 場	入退場行進曲	



## 7 冬季大会競技会開始式

### (1) 基本的な考え方

総合開会式・開会式の基本的な考え方を踏襲し、秋に開催される本大会へと繋がる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の幕開けにふさわしい内容にします。

### (2) 次第

いちご一会とちぎ国体冬季大会競技会開始式



閉式通告  
選手代表宣誓  
歓迎のことば  
中央競技団体あいさつ  
スポーツ庁あいさつ  
日本スポーツ協会・  
大会会長トロフィー返還  
会場地市町村旗掲揚  
栃木県旗・参加都道府県旗・  
大会旗・日本スポーツ協会旗・  
実施競技団体旗掲揚  
国旗掲揚  
競技会開始宣言  
開式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。



## 8 各競技会の表彰式

「いちご一会とちぎ国体」における各競技会の表彰式については、「国民体育大会開催基準要項」及び「同細則」に基づき、会場地市町村実行委員会等が関係競技団体と協議の上、次のとおり実施することができるものとします。

### (1) 内容

各競技会の表彰式は、概ね次のとおりとします。

- ① 開式通告
- ② 成績発表
- ③ 表彰状授与
- ④ 大会会長トロフィー授与
- ⑤ 競技会会長閉会のあいさつ
- ⑥ 会場地代表歓送のことば
- ⑦ 国旗降納
- ⑧ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納
- ⑨ 競技会終了宣言
- ⑩ 閉式通告

### (2) 実施上の留意点

- ① 表彰式の実施に当たっては、種目、種別ごとの表彰も含め、簡素化に努めるものとします。
- ② 表彰式の内容、所要時間は、選手のコンディションを配慮したものとします。
- ③ 1競技が複数会場地市町村にわたる場合は、当該市町村実行委員会等と競技団体が十分協議の上、実施します。
- ④ 大会会長トロフィーは、表彰式において授与するまでの間、表彰式を実施する会場地市町村実行委員会等が責任を持って保管します。
- ⑤ 特別競技及びデモンストレーションスポーツの表彰式については、上記(1)に準じます。ただし、大会会長トロフィー授与は除きます。
- ⑥ 公開競技は中央競技団体が表彰式の内容等を決定します。

### (3) その他

この取扱いに定めるもののほか、表彰式の実施に必要な事項については、会場地市町村実行委員会等と競技団体及び関係機関で協議の上、別に定めることとします。





## 9 炬火イベント

「炬火」は、国体マークに象徴されるとおり国体のシンボルであり、国体の総合開会式で会場内の炬火台に点火されます。障スポにも引き継がれ、大会期間中、選手の活躍を見守り続けます。

開催年には炬火イベントも実施され、幅広い年代の県民が参加することで、国体及び障スポの開催に向けた機運醸成を図るとともに、地域の連帯感や郷土意識を深めるのに重要な役割を担っています。

### (1) 基本的な考え方

- ① 地域の歴史・伝統・文化を生かすことで、郷土意識を高める内容とします。
- ② 子どもからお年寄りまで、幅広い年代の県民が参加することで、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に向けた機運を高めます。
- ③ 県民や選手の心に刻まれる内容となるよう、工夫します。

### (2) 炬火イベント基本方針

- ① 炬火は、県内全市町で採火を行い、保管します。
- ② 採火した炬火は、各市町が実施する催しで活用することができます。
- ③ 炬火イベントは、多くの県民が参加できる内容とします。
- ④ 実施にあたっては、簡素・効率化を心がけながらも、地域の特色を生かしたイベントになるよう、工夫を凝らしたものとします。
- ⑤ 全市町で採火した炬火を一つに集火し、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の総合開会式・開会式において炬火台に点火します。



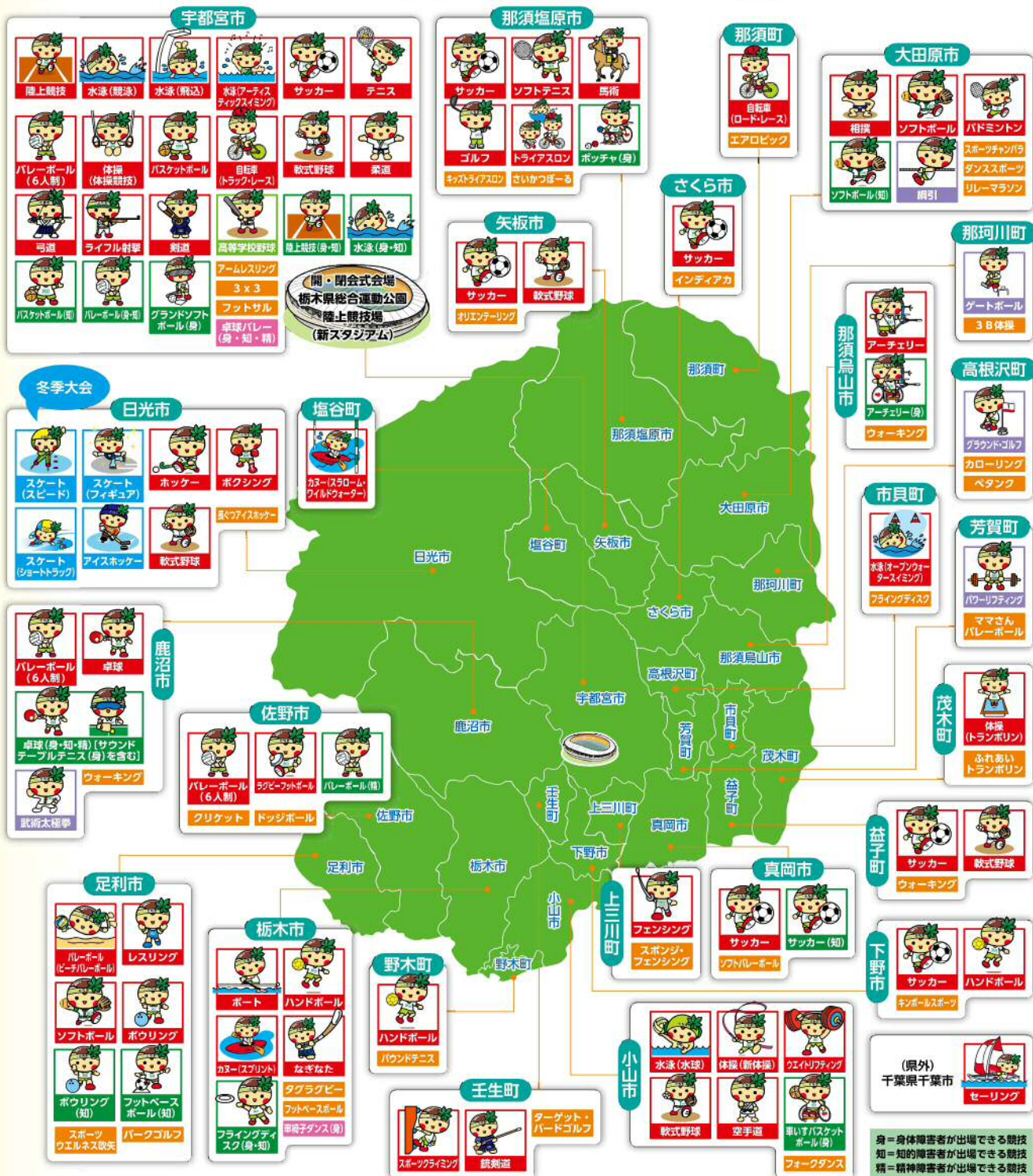
# 会場案内

## いちご一会とちぎ国体

- 正式競技 / 37競技
- 特別競技 / 1競技
- 公開競技 / 5競技
- デモンストラーションスポーツ / 31競技
- 冬季大会正式競技 / 2競技

## いちご一会とちぎ大会

- 正式競技 / 14競技
- オープン競技 / 2競技



令和2(2020)年4月1日現在





# いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会



イメージソング

## 「いちご一会」

笠木 敦志 作詞・作曲

一 夢を感動へ 感動を未来へ 心をひとつに

夢は分かち合える トキメキを胸に 情熱を大地に

空を突き抜けて 風を追い越して

いちご一会 この瞬間 思いを馳せた

舞台が今ここに 花は可憐に

滝はまぶしく 君は輝け

※VERY VERY GOOD BERRY BERRY とちぎ

(2回繰り返し)

二 夢を感動へ 感動を未来へ どんな人だって

つまづく事もある だけどくじけずに

そして繰り返し 一つずつ登る 想いを重ねて

いちご一会 この瞬間 真っ赤になった

情熱解き放て 緑あふれて

風はきらめき 君は輝け

※繰り返し

時は過ぎてても 忘れはしない この感動を

※繰り返し



栃木県総合運動公園陸上競技場  
(新スタジアム)完成イメージ



いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局  
(栃木県国体・障害者スポーツ大会局内)

〒320-0851 栃木県宇都宮市埴田1-1-20  
HP <https://www.tochigikokutai2022.jp/>  
TEL 028-623-3508 FAX 028-623-3527

2022とちぎ国体

検索



## 審議第3号

### いちご一会とちぎ国体下野市炬火イベント実施計画（案）

#### 1 目的

市民総参加の意識の高揚と「いちご一会とちぎ国体」（以下「国体」という。）に向けた機運醸成を図るため、いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会が実施する炬火イベントについて、必要な事項を定める。

#### 2 実施期間

##### （1）採火イベント

2022年8月下旬までに行うものとする。

##### （2）集火イベント

2022年9月中旬までに行うものとする。

#### 3 採火・集火方法

##### （1）採火イベント

市内各地区において、小中学校や各地区既存の行事等と連携し、採火を実施する。

##### （2）集火イベント

自主イベントを企画し、各地区の採火イベントで誕生した火を一つに集める集火イベントを実施するとともに、この集めた火を「下野市の火」とする。

#### 4 国体総合開会式

「下野市の火」は、いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会実行委員会が実施する総合開会式において「各市町村の火」とともに炬火入場し、集火、炬火台への点火で使用される。

※令和2年度時点では県実行委員会で総合開会式の内容について調整中。集火方法については以下3パターン。

・事前イベントで集火 ・オープニングイベントで集火 ・総合開会式で集火

#### 5 その他

この実施計画に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

## 〔8〕キンボールスポーツ

1 期 日	2022年9月17日（土）
	受付 8時30分
	開始式 9時00分 （リードアップゲームを含む）
	競技開始 9時45分
	表彰式 競技終了後

2 会 場 下野市 下野市石橋体育センター

### 3 種別及び参加人員

種 別	選手（監督含）	チーム数	小計	合計（人）
ジュニアの部（A）	4～8	15	120	360
ジュニアの部（B）	4～8	15	120	
フレンドリーの部	4～8	15	120	

※ 監督が選手を兼ねることができる。

### 4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規則

国際キンボールスポーツ連盟オフィシャルルールを適用する。（一部ローカルルールを適用する。）

(2) 競技方法

- ア 全ての部門で予選（各チーム3試合）を行う。上位3チームで決勝を行う。
- イ 決勝戦で同点のチームが出た場合は、同点のチーム同士で3点先取の延長戦を行う。
- ウ 各種別のスコアキーパーは選手が担当する。

(3) その他

- ア 組み合わせは主催者が決定する。
- イ 競技実施に必要な事項は別に定める。
- ウ ヒットは両手打ちのみとする。

### 5 選考方法

各種別において参加申込み先着順とし、定員になり次第締め切る。

### 6 参加資格

- (1) 栃木県内に在住、在勤、在学している者で1チーム4名以上8名以下の構成とする。
- (2) その他、栃木県キンボールスポーツ連盟が認めた者。
- (3) 小学生以上を対象とする。
- (4) 小学生が参加する場合は、保護者又は成人の付き添いを必要とする。
- (5) 18歳未満の者が参加する場合は、保護者の同意書を提出する。



- (6) 各種別の参加資格は以下のとおりとする。
- ア ジュニアの部 (A)：小学1年～3年生（男女混合可）
  - イ ジュニアの部 (B)：小学4年～6年生（男女混合可）
  - ウ フレンドリーの部：中学生以上の競技経験者（男女混合可）

## 7 表彰

- (1) 各種別の優勝、準優勝、3位のチームに、賞状を授与する。
- (2) 参加者には、大会参加記念章を授与する。

## 8 参加申込方法

所定の「参加申込書」及び「参加同意書」（2022年4月1日現在で18歳未満の者が参加する場合のみ）に必要事項を記入の上、2022年4月1日（金）から8月1日（月）までに下記宛に持参又は郵送・FAXもしくはメールで提出すること。

(注1) 申込後、到着確認の連絡（電話、FAX等）をお願いします。

(注2) 受付完了後、事務局から必要な連絡等をさせていただきます。

申込先	宛先	提出部数
いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会事務局（下野市教育委員会事務局スポーツ振興課）	〒329-0492 栃木県下野市笹原 26 TEL 0285-32-8920 FAX 0285-32-8611 メール sports@city.shimotsuke.lg.jp	1部

## 9 参加負担金

- (1) ジュニアの部 1チーム 2,000円
- (2) フレンドリーの部 1チーム 3,000円
- (3) 参加申込後の通知に従い、指定日までに納入すること。
- (4) 納入された参加料については、返金しないものとする。

## 10 参加上の注意

- (1) 傷害保険の加入については、主催者側で一括加入し、補償は保険の範囲内とする。
- (2) 参加者は、各自の責任において健康管理に十分配慮した上で参加すること。
- (3) 競技実施中の傷害、疾病については、主催者側で応急処置を行うが、以後の責任は一切負わない。（大会当日は、各自、健康保険証を持参すること。）
- (4) 会場までの移動については、各自行うこと。
- (5) 貴重品の管理は、個人又は各チームで行うこと。
- (6) 飲食、その他の「ゴミ」は、本人が必ず持ち帰ること。

## 11 個人情報の取扱いについて

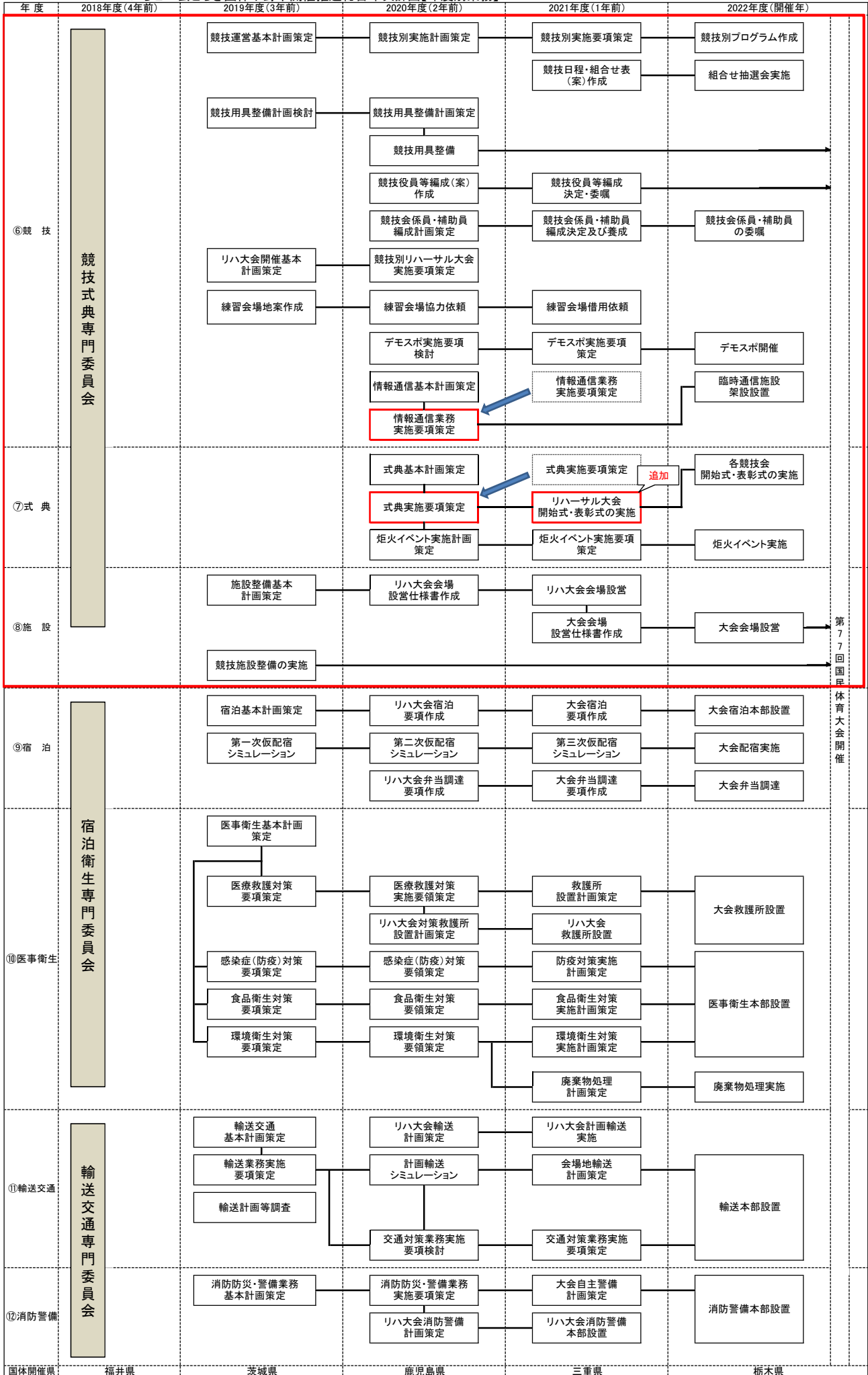
参加申込書及び参加同意書に記載された個人情報については、以下のいちご一会とちぎ国体に関する業務に使用する。また、申込み時点で本人の同意が得られたこととする。

- (1) いちご一会とちぎ国体参加意思及び参加人数の確認
- (2) 参加資格の確認（年齢、性別、所属、保護者の同意など）

- (3) 参加案内等の送付
- (4) 競技別プログラムの作成
- (5) 賞状等の筆耕
- (6) 競技結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報紙、インターネット等への掲載

## 12 その他

荒天時及び不測の事態の場合には主催者が当日 6 時までに開催の有無を決定し、いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会公式サイトで周知する。個別に電話連絡はしない。



第77回国体 体育大会開催

## 審議第6号

### いちご一会とちぎ国体下野市情報通信業務実施要項（案）

#### 1 趣旨

この要項は、「いちご一会とちぎ国体下野市情報通信基本計画」に基づき、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」（以下「国体」という。）における情報通信業務の実施について万全を期し、国体の円滑な運営を図るため必要な事項を定める。

#### 2 情報通信業務の種類

##### (1) 競技会運営に関する通信

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）は、競技団体等と協力のもと、競技会場及び練習会場等に必要な情報通信機器を設置し、式典及び練習会場等の円滑な運営を図る。

##### (2) 記録業務に関する通信

市実行委員会は、実施本部及び各競技会場に必要な通信機器を設置し、迅速かつ正確な記録の送受信を行い、記録業務の円滑な運営を図る。

##### (3) 輸送・交通業務に関する通信

市実行委員会は、選手、監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者の輸送及び各競技会場の交通対策に必要な通信機器を設置し、輸送・交通の円滑な運営を図る。

##### (4) 警備・消防防災業務に関する通信

市実行委員会は、関係機関・団体と連携して、警備・消防防災業務の実施に必要な通信体制を確立する。

#### 3 通信機器

上記2の業務を遂行するために使用する通信機器は、次のとおりとする。

- (1) 臨時加入電話
- (2) 携帯電話
- (3) 無線通信機器
- (4) パソコン
- (5) ファクシミリ

#### 4 設置

- (1) パソコンは実施本部、競技会場、その他必要な箇所に設置する。
- (2) 携帯電話及び無線通信機器は、国体運営上必要と認める者に携帯させる。
- (3) 通信機器の設置については、国体運営に支障のない日時までに完了することとし、



使用は原則として国体開催期間中とする。

- (4) 設置数、使用時間及び設置場所等については、競技団体及び関係機関・団体と協議の上決定する。

## 5 通信機器の管理及び保管

- (1) 競技会場等に通信機器を取り扱う管理責任者を置き、通信機器の管理及び保管を統括する。
- (2) 国体終了後、競技会場等における通信機器の用務が完了した時は、管理責任者はこれを取りまとめ実施本部各部へ返還する。

## 6 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。
- (2) 競技別リハーサル大会における情報通信業務についても、この要項を準用する。

## 審議第7号

### いちご一会とちぎ国体下野市式典実施要項（案）

#### 1 趣旨

この要項は、いちご一会とちぎ国体下野市開催競技における式典の実施について、「いちご一会とちぎ国体下野市開催推進総合計画」及び「いちご一会とちぎ国体下野市式典基本計画」に基づき、必要な事項を定める。

#### 2 方針

式典は、競技会への参加意欲を高めるとともに、選手の検討を心からたたえるものとする。内容については、競技運営や選手のコンディションを配慮した上で、競技団体及び関係機関等と協力し、簡素な中にも心に残るものになるように創意工夫する。

#### 3 式典運営

- (1) 式典の運営は、競技団体及び関係機関等といちご一会とちぎ国体下野市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）の緊密な連携のもと、これにあたる。
- (2) 式典の協力者は、県内の学校及び関係機関等の協力を得て編成する。

#### 4 式典内容

表彰式の内容は、概ね次のとおりとする。ただし、内容及び所要時間については、選手のコンディション等の配慮に努めるため、適宜変更できるものとする。

##### 表彰式

- ア 開式通告
- イ 成績発表
- ウ 表彰状授与
- エ 大会会長トロフィー授与
- オ 閉会のあいさつ
- カ 歓送のことば
- キ 競技会終了宣言
- ク 閉式通告

#### 5 式典音楽

式典音楽は、原則としてCD等を利用する。

#### 6 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、市実行委員会及び競技団体等が協議

- の上、別に定める。
- (2) 競技別リハーサル大会における式典実施についても、この要項を準用する。